

白馬村子ども・子育て支援事業計画

アンケート集計結果



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シェヴァルブラン・村男Ⅲ世

平成26年5月

調査の概要

(1) 調査目的

白馬村では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「白馬村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしました。この計画の策定に先立ち、確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するための基礎資料として、就学前児童の保護者の意向を把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査項目

住民の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」について

(3) 調査対象者

平成25年10月1日現在、村内に在住する就学前児童（0歳から5歳。ただし、同じ世帯に2人以上の対象児童がいる場合は一番年上の児童としています。）の保護者。

(4) 回収結果

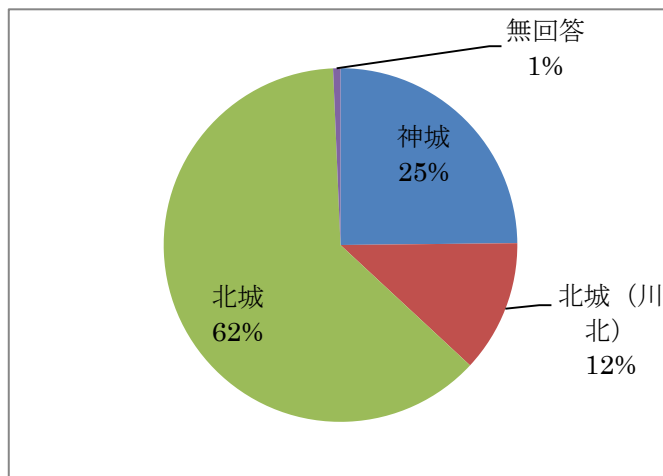
調査対象	発送数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	298	149	50.0%

お住まいの地域に関する質問

問1 お住まいの地区は

区分	回答数	割合
神城	37	24.8%
北城(川北)	18	12.1%
北城	93	62.4%
無回答	1	0.7%
合計	149	100.0%

北城(川北)…落倉・切久保・新田・森上・塩島・通立の間・青鬼・野平・どんぐり・中込

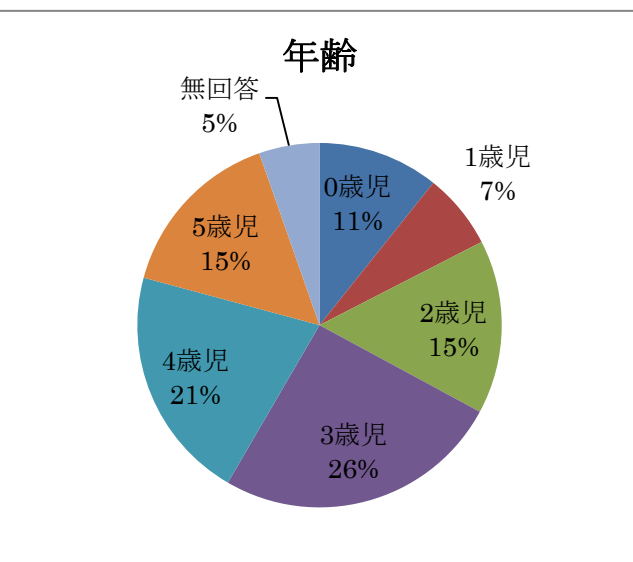


概ね北城地区が4分の3、神城地区が4分の1となっている。

宛名のお子さんご家族の状況に関する質問

問2 宛名のお子さんの年齢は

区分	回答数	割合
0歳児	16	10.7%
1歳児	10	6.7%
2歳児	23	15.4%
3歳児	38	25.5%
4歳児	31	20.8%
5歳児	23	15.4%
無回答	8	5.4%
合計	149	100.0%

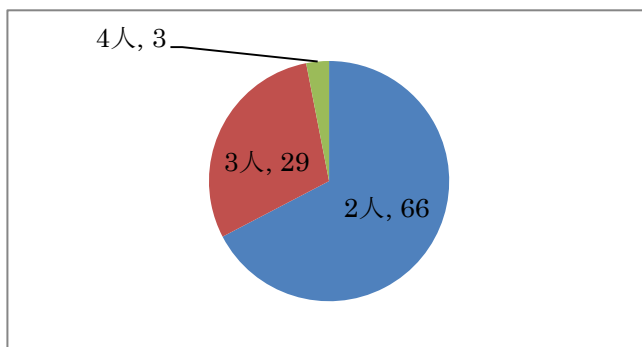


きょうだいがいる場合は一番年上を対象児童としているため、このような結果となった。ただし、5歳児については、対象児童が平成25年10月1日現在の年齢としているため、対象児童数自体少ない。

問3 宛名のお子さんを含むきょうだい数とその末子の年齢は

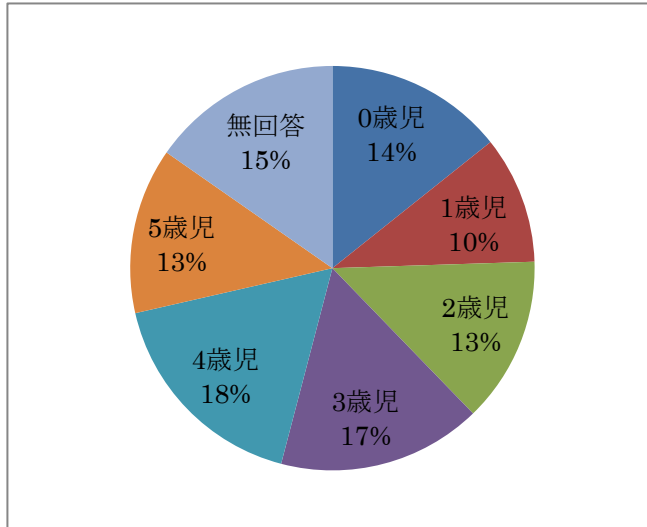
きょうだい数

区分	回答数	割合
2人	66	67.3%
3人	29	29.6%
4人	3	3.1%
合計	98	100.0%



末子の年齢

区分	回答数	割合
0歳児	14	14.3%
1歳児	10	10.2%
2歳児	13	13.3%
3歳児	16	16.3%
4歳児	17	17.3%
5歳児	13	13.3%
無回答	15	15.3%
合計	98	100.0%

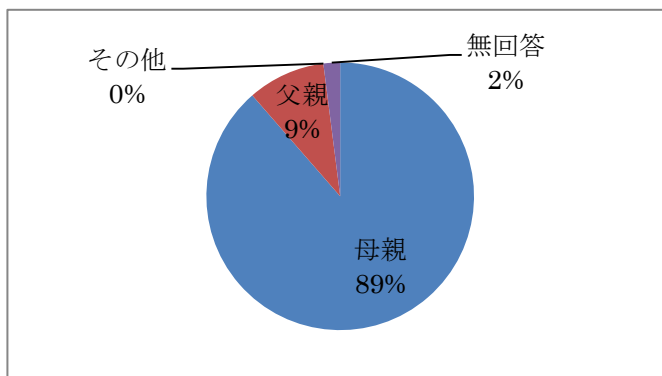


きょうだい数は2人が66名(67.3%)と一番多く、次に3人が29名(29.6%)、4人が3名(3.1%)となっている。

また、末子の年齢は4歳児が17名(17.3%)と一番多いが、一番少ない1歳児でも10名(10.2%)となっており、概ね均等している。

問4 アンケートの回答者は

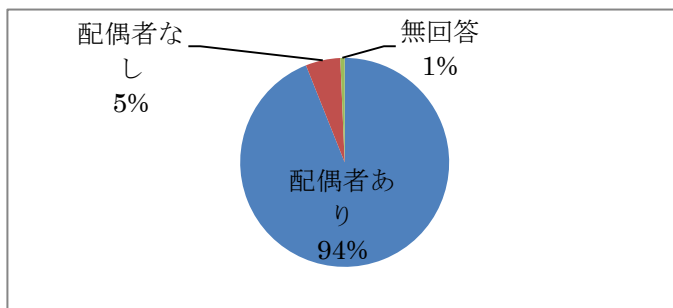
区分	回答数	割合
母親	132	88.6%
父親	14	9.4%
その他	0	0.0%
無回答	3	2.0%
合計	149	100.0%



母親が132名(88.6%)、父親が14名(9.4%)となっている。

問5 回答者の配偶関係について

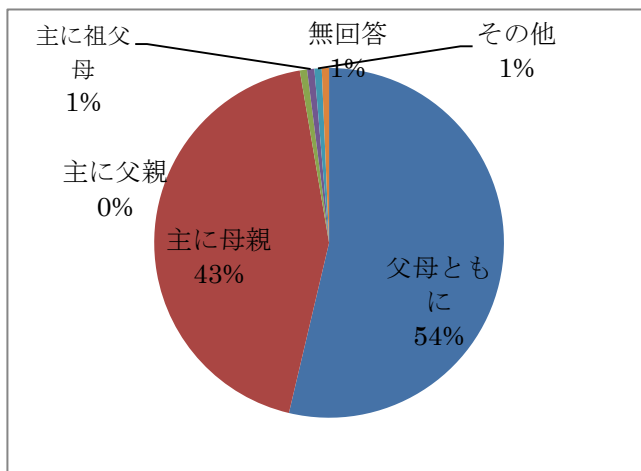
区分	回答数	割合
配偶者あり	140	94.0%
配偶者なし	8	5.4%
無回答	1	0.7%
合計	149	100.0%



「配偶者あり」が140名（94.0%）、「配偶者なし」が8名（5.4%）となっている。

問6 子育て（教育を含む）を主に行っている方は

区分	回答数	割合
父母ともに	80	53.7%
主に母親	65	43.6%
主に父親	1	0.7%
主に祖父母	1	0.7%
その他	1	0.7%
無回答	1	0.7%
合計	149	100.0%

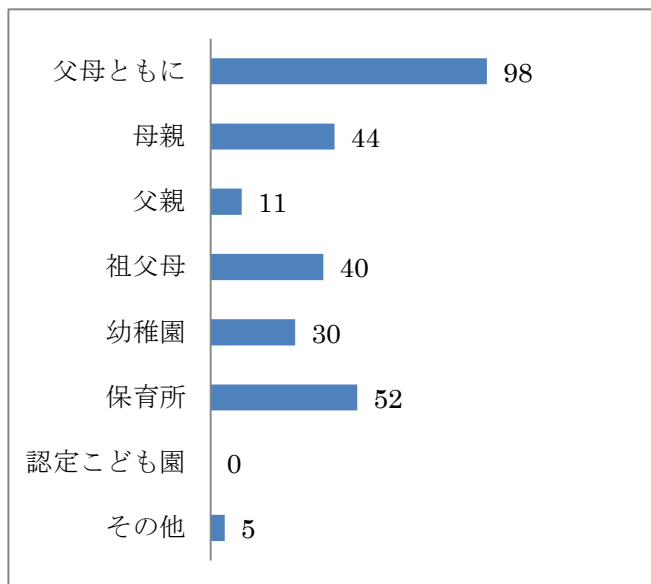


「父母ともに」が80名（53.7%）で一番多く、「主に母親」が65名（43.6%）、「主に父親」が1名（0.7%）、「主に祖父母」が1名（0.7%）となっている。

子どもの育ちをめぐる環境に関する質問

問7 子育てに日常的に関わっている者（施設）は（重複回答）

区分	回答数	割合
父母ともに	98	35.0%
母親	44	15.7%
父親	11	3.9%
祖父母	40	14.3%
幼稚園	30	10.7%
保育所	52	18.6%
認定こども園	0	0.0%
その他	5	1.8%
合計	280	100.0%

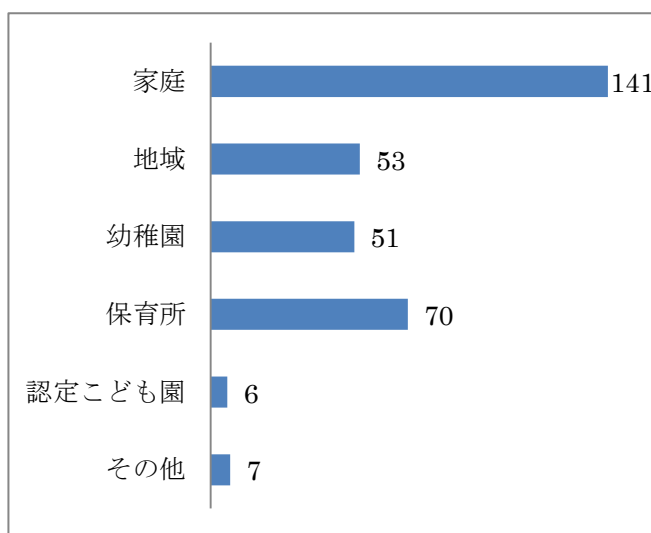


「父母ともに」のみの回答が38名で一番多く、「父母ともに」「保育所」の回答が22名、「母親」のみの回答が13名、「父母ともに」「祖父母」「保育所」の回答が12名となっている。

「父母ともに」と回答した人は「保育所」（35名）、「祖父母」（29名）、「幼稚園」（16名）も回答している。また、「母親」と回答した人で「父親」も回答している人が10名おり、その数を「父母ともに」に移動すると、「母親」34名、「父親」1名となる。

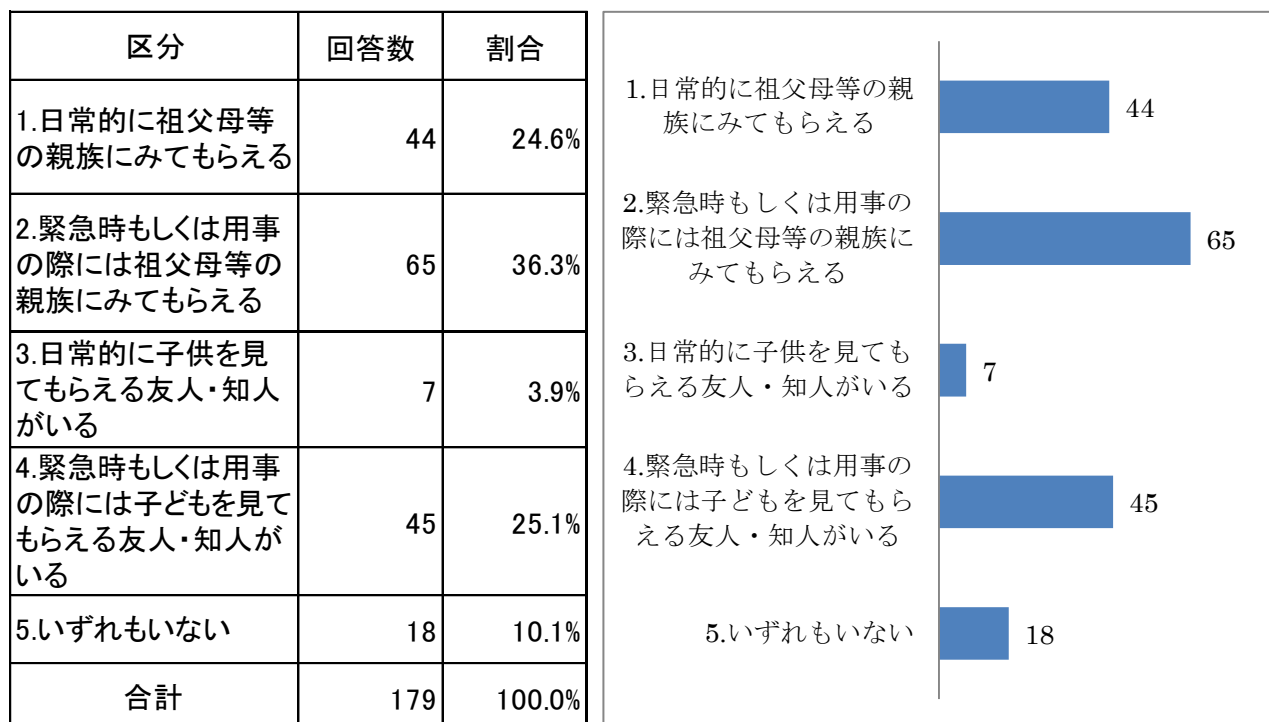
問8 子育てに影響すると思われる環境は（重複回答）

区分	回答数	割合
家庭	141	43.0%
地域	53	16.2%
幼稚園	51	15.5%
保育所	70	21.3%
認定こども園	6	1.8%
その他	7	2.1%
合計	328	100.0%



「家庭」「保育所」の回答が32名で一番多く、「家庭」「幼稚園」の回答が27名、「家庭」のみの回答が26名、「家庭」「地域」「保育所」の回答が19名となっている。

問9 お子さんをみてもらえる親族・知人がいるか（重複回答）



回答数 149 名のうち「1」あるいは「2」と回答した人が 102 名（68.5%）、「3」あるいは「4」と回答した人が 50 名（33.6%）いた。緊急時のみの「2」あるいは「4」と回答した人は 88 名（59.1%）だった。

問9-1 【問9で1または2に○をつけた方】の祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況について（重複回答）

区分	回答数	割合
1.祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	55	37.9%
2.祖父母等の親族の身体負担が大きく心配である	26	17.9%
3.祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	22	15.2%
4.自分たち親の立場として、負担をかけることが心苦しい	18	12.4%
5.子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	17	11.7%
6.その他	7	4.8%
合計	145	100.0%

回答者 102 名のうち「安心して子どもをみてもらえる」が 55 名で一番多いが、みてもらうのが心配や不安、心苦しいと回答（2から5のいずれか回答）した人が 47 名（46.1%）いた。

問9-2 【問9で3または4に○をつけた方】の友人・知人にお子さんを見てもらっている状況について（重複回答）

区分	回答数	割合
1.友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	18	31.0%
2.友人・知人の身体負担が大きく心配である	2	3.4%
3.友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	9	15.5%
4.自分たち親の立場として、負担をかけることが心苦しい	22	37.9%
5.子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1	1.7%
6.その他	6	10.3%
合計	58	100.0%

回答者 50 名のうち「安心して子どもをみてもらえる」が 18 名いたが、みてもらうのが心配や不安、心苦しいと回答（2から5のいずれか回答）した人が 30 名（60.0%）いた。

問 10 子育てをする上で気軽に相談できる人、場所について

区分	回答数	割合
いる/ある	142	95.3%
いない/ない	5	3.4%
無回答	2	1.3%
合計	149	100.0%

「いる／ある」と回答した方が 95.3%を占めている。

問 10-1 【問 10 で いる/ある に○をつけた方】の相談先について（重複回答）

区分	回答数	割合
祖父母等の親族	103	27.5%
友人や知人	117	31.2%
近所の人	27	7.2%
子育ての支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO	34	9.1%
保健所・保健センター	6	1.6%
保育士	35	9.3%
幼稚園教諭	24	6.4%
民生委員・児童委員	0	0.0%
かかりつけの医師	11	2.9%
役場の子育て関連窓口	14	3.7%
その他	4	1.1%
合計	375	100.0%

「祖父母等の親族」「友人や知人」の回答が 25 名で一番多く、「祖父母等の親族」「友人や知人」「子育て支援施設」の回答が 10 名、「祖父母等の親族」のみの回答が 9 名、「祖父母等の親族」「友人や知人」「保育士」の回答が 8 名となっている。

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいか（自由回答）

区分	回答数	割合
A 相談できる場所	8	14.8%
B 公園や気軽に遊べる場所	10	18.5%
C 居宅訪問型保育サポート	3	5.6%
D 非常時 24h対応サポート	1	1.9%
E バス送迎	3	5.6%
F 催しやイベント等	2	3.7%
G 情報交換の場	1	1.9%
H 利用料金や補助金等	2	3.7%
I 地域住民	1	1.9%
J 観光地、自営業、繁忙期への特別サポート	2	3.7%
K 気軽にサポートしてくれる場所	9	16.7%
L 病児・病後児へのサポート	2	3.7%
M 障害児へのサポート	1	1.9%
N その他	9	16.7%
合計	54	100.0%

問11の個別意見

A	専門知識のある人(看護師、助産師、カウンセラー)に話が出来る機会があると、精神的に心強い
A	検診以外で気軽に困りごとを相談でき、具体的なアドバイスをもらいたい
A	役場の人間が気軽に相談できる所ではない。
A	聞き手になってもらうこと、情報社会で頭が情報で一杯になる時は助言よりも聞いてもらえることがサポートに
A	困った時に相談に乗ってもらえば良いと思います。
A	不安や疑問に思っている事を聴いてくれる。答えてくれる。環境があると良いです。
A	第三者(他人)から「大丈夫か」と聞いて(尋ねて)もらえる時があるといい。
A	気軽に相談できる環境
B	公園等(特に屋内施設)がもっと増えれば良い。身体を思いっきり使って遊べる場所、気軽に利用できる場所がもっとほしい。特に冬に必要な
B	公園など子どもが楽しく遊べる場所があるといい
B	曜日に関係なく、午前中も支援ルームみたいに遊ばせる所があるとよい
B	幼児があそべる遊具のある、公園があるといいな。
B	子どもが安心して遊べる屋内外の場所がたくさんあるといいなと思います。知らないだけなのかもしれませんが。。白馬村で常に遊びに行けるような所があるのでしょうか??
B	公園などを充実させてください。
B	住んでい居る地区から近くに子どもたちが集まるような施設があったり、小さい子がいる人同士で集まって、話し合える場所が多いといい。
B	同年代の子たちとふれ合って遊べる場所や機会を増やして欲しいです!!
B	もっと気軽に遊べる場所が欲しいです。
B	近所に同級生(の女の子(同性))がいないので、小学校に上がったからの遊び相手もなく、学校は放課後にいけないし、つまらないかと思う。
C	居宅訪問型保育サポート 生後10か月以下でも預けられる施設。
C	村負担のサポートではなく、もっと小さなコミュニティ形成をし、コミュニティ内でサポート。村はそのコミュニティの支援を行えばスムーズに回るとは思いますが。コミュニティ例:近所、友達 子育てグループ等
C	ベビーシッターサークル(会員制でだれでも都合の良い親同士が交代で子供たちを数時間面倒を見てくれる、気軽に頼めるベビーシッター制度)低価格・会員同士での子供の救急法 開設などの手伝いを行政が手伝ってくれると嬉しい。
D	非常時(発熱時等)も対応サポート(24h対応)があると安心です。
E	バス通園してもらえると助かります。
E	都会と比べ、通学に時間、体力を取られると思うので、その分宿題なども集中力が落ちると思う。保育園(学校)を含め、冬期だけでもスクールバスが出ると、ありがたい。
E	保育園への送迎
F	広報etcだけでなく、村内のその年齢(幼児期)(学童期)に参加できる催しやイベントを、村から月ごとに知らせて頂けるとうれしい。(口コミではなく、HPなどで)
F	月に1度、同じ月齢の子どもや保護者の集まりがあるといい。予防接種がある程度終わってしまうと、なかなか交流できないし、自分の子の発達具合も気になる。
G	子育てサロンなど検診以外で集まる機会があればよいと思う。情報交換など気軽にしたい。
H	仕事に出れるように預かってくれるところ。(土日)支援ルームは高すぎる。
H	金銭的支援をもっと行政(村)より。
I	地域の住民で元気なお年寄りなどが子どもを見てくれるような制度があったらよいと思います。
J	フィンランド フランス等の様に、ベビーシッターのような制度があればいいと思います。(無料又はとても安く雇える)保育園や幼稚園では自営業である旅館の仕事がちょうど忙しくなる時間まで(18:00~20:00)預かってくれないので
J	子育て支援センターでの保育について、夏季やスキーシーズン等の繁忙期の時間を5時よりも少し長くしてもらえるととても助かります。(現在でも日中、子供を見てもらえるので、本当にありがたく思っていますよ。)

K	もう少し短いスパンで未満児を預かるところがほしい。大町は各保育園でも1H300円であずかってもらえる。
K	理由を問わず一時預かりをしてもらえるサポートがあったらと思います。
K	もっと気軽に預けられる一時保育。村の支援センターがあるが、預かりを渋る。預ける側が悪いというような態度で気軽に預けることができない。2日前までに予約しても希望時間は無理と言われたり、一体何のための施設かわからない預けたいと思わない。
K	急な場合でも預かってもらえるサービス(事前の予約がなくても対応してほしい)
K	現時点でも満足しているが支援ルームの一時預かりが2日前までの予約だと当日どうしても預けないといけない事になると困る。
K	気軽に子供を預かってもらえると助かる。もしくは、そういった場をもうけてもらいたい。急用の場合、事前予約が必要な支援施設では預かってもらえず。友人には頼みにくい。
K	自分の時間も少し持てるように気軽に預かってくれる人がいるといい。
K	母親が風邪の時に一時的に預かって頂けるとありがたい。
K	子供を気兼ねなく預けられる環境(未満児保育、急な連絡でも対応してもらえる。夜間などの対応、祝、休日の対応)
L	病気の時 少し子供を見ていてくれる場所があれば。。。 (急に仕事休めないこともあるので。。。)
L	病児保育
M	子供の発達障害がある場合にはどのような支援があるかわからず、支援を受けていない事があるのではないかと思います。ほとんどが自分で調べたり支援を受けている親御さんに聞く型です。どのような支援を受けることができるかを教えて頂ければ一番うれしいです。
N	保育園に通っているのでサポートは足りていると感じている。
N	他の自治体で行っていると聞いたのですが、歯のフッ素を塗ることを行政で行っていただけるとありがたいです。
N	まず話をゆっくり聞いてくれること。気持ちを分かってくることが大事だと思う。
N	行政担当→相談した際に、速やかな対応
N	姑が親よりなんでも手を出し過ぎるので1歩引いてほしい。
N	現状では特に不自由さは感じていない。祖父母も主人も妹もいるので、恵まれていると思う。子育て支援施設はいつ何をやっているのか、把握できないので、支援ルームやふれあいセンターだけでなく、スーパーとか、ドラッグストアとかに、月刊スケジュール的なものを、おいておいたりしてもらえると、買い物ついでに、見られるのでいいかなと思うけど、むずかしいかなー。
N	子育てにおいて、今やっていることが正しいか不安。
N	子育てする側が求めれば、行政の方でも身近な方からも十分なサポートが獲られていると思います。それができない方へのサポートもあると良いかと思います。
N	児童クラブが校舎内にあって戸外であそべると良いと思った(夏場はとくに)

保護者の就労状況に関する質問

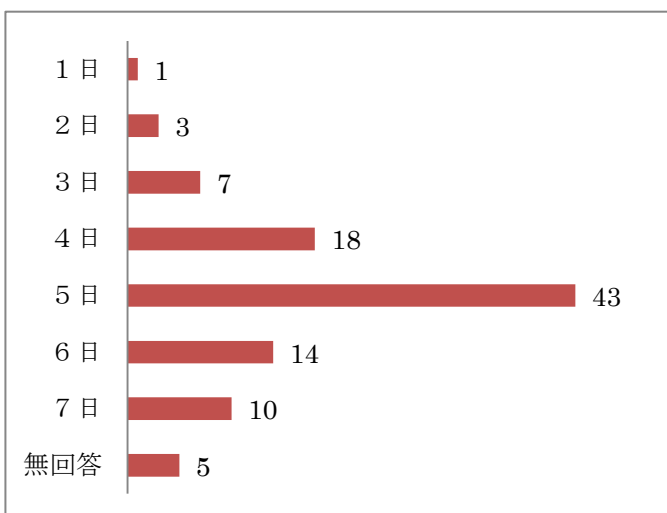
問 12 お子さんの保護者の現在の就労状況について

(1) 母親

区分	回答数	割合
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	32	21.8%
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	9	6.1%
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	56	38.1%
4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	2.7%
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	46	31.3%
6. これまでに就労したことがない	0	0.0%
合計	147	100.0%

(1) -1 (1) で 1~4 (就労している) と回答した方の週当たり就労日数と 1 日当たり就労時間
週当たりの就労日数

日数	回答数	割合
1 日	1	1.0%
2 日	3	3.0%
3 日	7	6.9%
4 日	18	17.8%
5 日	43	42.6%
6 日	14	13.9%
7 日	10	9.9%
無回答	5	5.0%
合計	101	100.0%



1 日当たりの就労時間

時間	回答数	割合	時間	回答数	割合
2時間	3	3.0%	8時間30分	1	1.0%
3時間	2	2.0%	9時間	5	5.0%
3時間30分	2	2.0%	9時間30分	1	1.0%
4時間	10	9.9%	10時間	5	5.0%
5時間	17	16.8%	10時間30分	1	1.0%
6時間	7	6.9%	12時間	4	4.0%
6時間30分	2	2.0%	14時間	2	2.0%
7時間	8	7.9%	17時間	1	1.0%
7時間30分	1	1.0%	19時間	1	1.0%
8時間	22	21.8%	無回答	6	5.9%
			合計	101	100.0%

(1) -2 (1) で 1~4 (就労している) と回答した方の家を出る時刻と帰宅時刻

家を出る時刻

時刻	回答数	割合
5:30	1	1.1%
6:00	1	1.1%
6:30	3	3.4%
7:00	5	5.7%
7:30	6	6.8%
8:00	16	18.2%
8:30	19	21.6%
9:00	16	18.2%
9:30	3	3.4%
10:00	1	1.1%
10:30	1	1.1%
12:30	1	1.1%
13:00	2	2.3%
13:30	1	1.1%
18:30	1	1.1%
無回答	11	12.5%
合計	88	100.0%

帰宅時刻

時刻	回答数	割合
4:00	1	1.1%
12:00	2	2.3%
13:00	2	2.3%
13:30	4	4.5%
14:00	2	2.3%
14:30	1	1.1%
15:00	5	5.7%
15:30	4	4.5%
16:00	7	8.0%
16:30	6	6.8%
17:00	7	8.0%
17:30	6	6.8%
18:00	15	17.0%
18:30	4	4.5%
19:30	1	1.1%
20:00	2	2.3%
20:30	1	1.1%
21:00	2	2.3%
21:30	2	2.3%
22:00	1	1.1%
23:00	2	2.3%
無回答	11	12.5%
合計	88	100.0%

就労中（産休・育休・介護休業中含む）が全体の 68.7%をしめている。週当たりの就労日数は5日（43.9%）が一番多く、1日当たりの就労時間は8時間（22.7%）、5時間（17.5%）となっている。家を出る時刻は午前8時30分（21.6%）、帰宅時間は午後6時（17.0%）が最も多い。

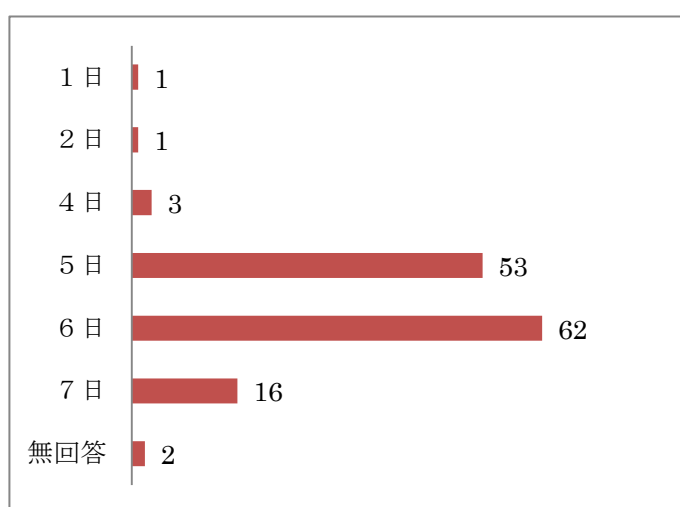
また、就労時間が8時間の場合では、家を出る時間は午前7時30分から8時、帰宅時間は午後6時から6時30分が多い。就労時間が5時間の場合では、家を出る時間は午前8時30分から9時、帰宅時間は午後3時から4時が多い。

(2) 父親

区分	回答数	割合
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	132	95.7%
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	6	4.3%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	0	0.0%
これまでに就労したことがない	0	0.0%
合計	138	100.0%

(2) -1 (2) で 1～4 (就労している) と回答した方の週当たり就労日数と 1 日当たり就労時間
週当たり就労日数

日数	回答数	割合
1 日	1	0.7%
2 日	1	0.7%
4 日	3	2.2%
5 日	53	38.4%
6 日	62	44.9%
7 日	16	11.6%
無回答	2	1.4%
合計	138	100.0%



1 日当たりの就労時間

時間	回答数	割合	時間	回答数	割合
2時間	1	0.7%	11時間	4	2.9%
5時間	1	0.7%	11時間30分	1	0.7%
6時間	1	0.7%	12時間	17	12.3%
7時間	1	0.7%	13時間	3	2.2%
8時間	37	26.8%	16時間	2	1.4%
8時間30分	3	2.2%	17時間	1	0.7%
9時間	29	21.0%	19時間	1	0.7%
9時間30分	1	0.7%	無回答	6	4.3%
10時間	29	21.0%	合計	138	100.0%

(2) -2 (2) で 1~4 (就労している) と回答した方の家を出る時刻と帰宅時刻

家を出る時刻

時刻	回答数	割合
5:00	1	0.7%
5:30	1	0.7%
6:00	8	5.8%
6:30	6	4.3%
7:00	24	17.4%
7:30	30	21.7%
8:00	25	18.1%
8:30	10	7.2%
9:00	4	2.9%
9:30	3	2.2%
10:00	1	0.7%
11:00	2	1.4%
12:30	1	0.7%
無回答	22	15.9%
合計	138	100.0%

帰宅時刻

時刻	回答数	割合
1:00	1	0.7%
5:30	1	0.7%
10:00	3	2.2%
16:30	1	0.7%
17:00	5	3.6%
17:30	6	4.3%
18:00	24	17.4%
18:30	14	10.1%
19:00	15	10.9%
19:30	3	2.2%
20:00	16	11.6%
20:30	1	0.7%
21:00	11	8.0%
21:30	4	2.9%
22:00	6	4.3%
22:30	1	0.7%
23:00	2	1.4%
0:00	1	0.7%
無回答	23	16.7%
合計	138	100.0%

就労中が 100%となっている。週当たりの就労日数は 6 日 (44.9%) が一番多く、1 日当たりの就労時間は 8 時間 (26.8%)、9 時間 (21.0%)、10 時間 (21.0%) となっている。家を出る時刻は午前 7 時 30 分 (21.7%)、帰宅時間は午後 6 時 (17.4%) が最も多い。

また、就労時間が 8 時間の場合では、家を出る時間は午前 7 時 30 分から 8 時、帰宅時間は午後 6 時が多い。就労時間が 9 時間の場合では、家を出る時間は午前 7 時 30 分から 8 時、帰宅時間は午後 6 時から 7 時が多い。就労時間が 10 時間の場合では、家を出る時間は午前 7 時から 8 時、帰宅時間は午後 8 時が多い。

問 13 【問 12 (1) (2) で「3.4」(パート・アルバイト等で就労している)に回答した方】のフルタイムへの転換希望について

(1)母親

区分	回答数	割合
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	5	8.3%
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	12	20.0%
パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	32	53.3%
パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい	2	3.3%
無回答	9	15.0%
合計	60	100.0%

(2)父親

区分	回答数	割合
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	3	50.0%
パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望	2	33.3%
パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 53.3%で一番多く、父親は「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みがない」が 50.0%で一番多い。

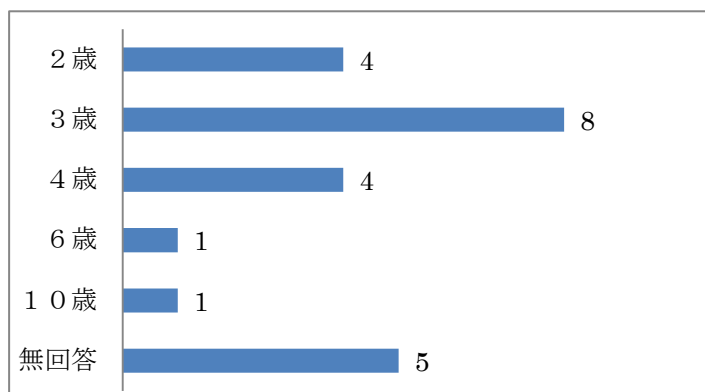
問 14 【問 12 (1) (2) で 5 (以前は就労していたが、現在は就労していない) または 6 (これまで就労したことがない) と回答した方】の就労希望について

(1)母親

区分	回答数	割合
1.子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	4	8.7%
2.1年より先、一番下の子供が□□歳になったころに就労したい	23	50.0%
3.すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	12	26.1%
4.無回答	7	15.2%
合計	46	100.0%

(1) の2の回答の□□歳について

区分	回答数	割合
2歳	4	17.4%
3歳	8	34.8%
4歳	4	17.4%
6歳	1	4.3%
10歳	1	4.3%
無回答	5	21.7%
合計	23	100.0%



(1) で2または3と回答した方について

(1)希望する就労形態

区分	回答数	割合
フルタイム	6	17.1%
パート・アルバイト	12	34.3%
無回答	17	48.6%
合計	35	100.0%

(2)1週当たり何日就労したいか

区分	回答数	割合
2日	1	2.9%
3日	2	5.7%
4日	6	17.1%
5日	3	8.6%
無回答	23	65.7%
合計	35	100.0%

(3)1日当たり何時間就労したいか

区分	回答数	割合
4時間	1	2.9%
5時間	6	17.1%
6時間	5	14.3%
無回答	23	65.7%
合計	35	100.0%

(2)父親

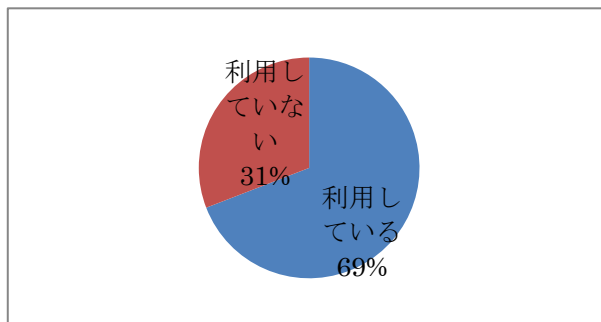
区分	回答数	割合
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0
1年より先、一番下の子供が□□歳になったところに就労したい	0	0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0	0
無回答	0	0
合計	0	0

母親は一番下の子どもが3歳になったところに就労したいという回答が一番多い。希望する就労形態はパート・アルバイトが多いが、回答結果から見ると希望する勤務日数・時間は判断できない。

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況に関する質問

問 15 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用について

区分	回答数	割合
利用している	103	69.1%
利用していない	46	30.9%
合計	149	100.0%

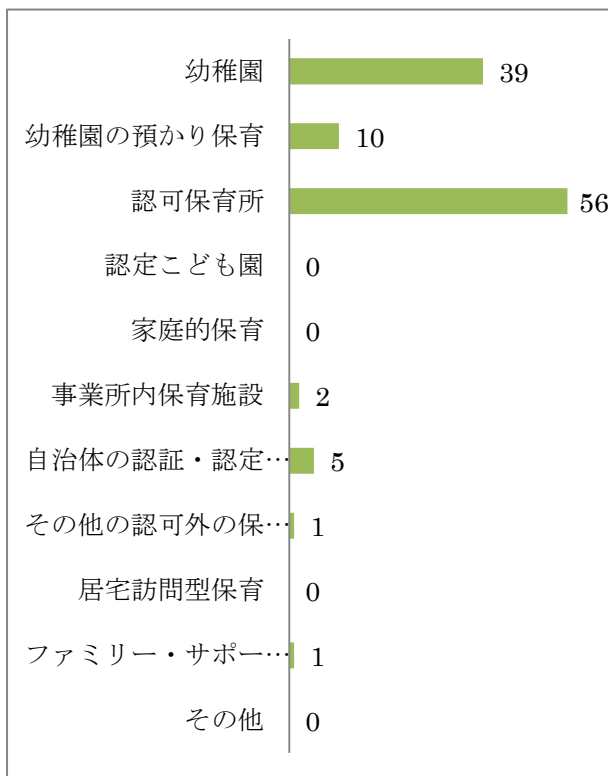


「利用している」が 69.1%となっている。

問 15-1 から問 15-4 は、問 15 で「利用している」と回答した方への質問

問 15-1 平日の教育・保育の事業の年間を通じた定期的な利用について（重複回答）

区分	回答数	割合
幼稚園	39	34.2%
幼稚園の預かり保育	10	8.8%
認可保育所	56	49.1%
認定こども園	0	0.0%
家庭的保育	0	0.0%
事業所内保育施設	2	1.8%
自治体の認証・認定保育施設	5	4.4%
その他の認可外の保育施設	1	0.9%
居宅訪問型保育	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター	1	0.9%
その他	0	0.0%
合計	114	100.0%



認可保育所が 49.1%、幼稚園が 34.2%の順となっている。

問 15-2 問 15-1 の事業の現在の利用状況と希望について

(1) 現在

1週間当たりの利用日数

日数	回答数	割合
1日	2	1.8%
3日	2	1.8%
5日	89	78.1%
6日	4	3.5%
無回答	17	14.9%
合計	114	100.0%

1日当たりの利用時間

時間	回答数	割合
2時間	1	0.9%
3時間	1	0.9%
5時間	2	1.8%
6時間	8	7.0%
6時間30分	8	7.0%
7時間	25	21.9%
7時間30分	20	17.5%
8時間	21	18.4%
9時間	4	3.5%
9時間30分	2	1.8%
10時間	2	1.8%
無回答	20	17.5%
合計	114	100.0%

何時から

開始時間	回答数	割合
3:00	1	0.9%
7:30	2	1.8%
8:00	12	10.5%
8:30	49	43.0%
9:00	26	22.8%
9:30	1	0.9%
無回答	23	20.2%
合計	114	100.0%

何時まで

終了時間	回答数	割合
13:30	1	0.9%
14:00	1	0.9%
14:30	1	0.9%
15:00	12	10.5%
15:30	14	12.3%
16:00	43	37.7%
16:30	10	8.8%
17:00	1	0.9%
17:30	3	2.6%
18:00	3	2.6%
無回答	25	21.9%
合計	114	100.0%

(2) 希望

1週間当たりの利用日数

日数	回答数	割合
3日	1	0.9%
5日	60	52.6%
6日	15	13.2%
無回答	38	33.3%
合計	114	100.0%

1日当たりの利用時間

時間	回答数	割合
2時間	1	0.9%
5時間	1	0.9%
6時間	4	3.5%
6時間30分	2	1.8%
7時間	17	14.9%
7時間30分	9	7.9%
8時間	17	14.9%
8時間30分	4	3.5%
9時間	8	7.0%
9時間30分	4	3.5%
10時間	4	3.5%
11時間30分	1	0.9%
12時間	1	0.9%
無回答	41	36.0%
合計	114	100.0%

何時から

開始時間	回答数	割合
7:00	2	1.8%
7:30	3	2.6%
8:00	20	17.5%
8:30	27	23.7%
9:00	15	13.2%
無回答	47	41.2%
合計	114	100.0%

何時まで

終了時間	回答数	割合
13:30	1	0.9%
15:00	4	3.5%
15:30	7	6.1%
16:00	23	20.2%
16:30	8	7.0%
17:00	10	8.8%
17:30	6	5.3%
18:00	6	5.3%
19:00	1	0.9%
20:00	1	0.9%
無回答	47	41.2%
合計	114	100.0%

1週間当たりの利用日数は現在では5日が78.1%となっており、希望する利用日数でも5日が52.6%と一番多いが、6日希望が13.2%ある。1日当たりの利用時間は現在、希望とも7時間から8時間が多く、開始時間は現在、希望とも午前8時30分が一番多く、終了時間は現在、希望とも午後4時が一番多い。また、現在より希望の方が無回答者数が多いが、その理由は現状で満足しているものと考えられる。

問 15-3 現在利用している教育・保育事業の実施場所について

区分	回答数	割合
居住している市区町村内	97	94.2%
他の市区町村	3	2.9%
無回答	3	2.9%
合計	103	100.0%

「居住している市区町村内」が 94.2%で一番多い。

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
子どもの教育や発達のため	77	54.6%
子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している	56	39.7%
子育て（教育を含む）をしている人が就労予定がある/求職中である	5	3.5%
子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	1	0.7%
子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	1	0.7%
子育て（教育を含む）をしている方が学生である	0	0.0%
その他	1	0.7%
合計	141	100.0%

「子どもの教育や発達のため」が 54.6%で一番多く、次いで「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が 39.7%となっている。両方回答した人が 39 名いた。

問 15-5 【問 15 で「利用していない」と回答した方】の利用していない理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
（子どもの教育や発達の為、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない	20	29.9%
子どもの祖父母や親戚の人が見ている	4	6.0%
近所の人や父母の友人・知人がみている	1	1.5%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	7	10.4%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない経済的な理由で事業を利用できない	2	3.0%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	2	3.0%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	2	3.0%
子どもがまだ小さいため *（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）	27	40.3%
その他	2	3.0%
合計	67	100.0%

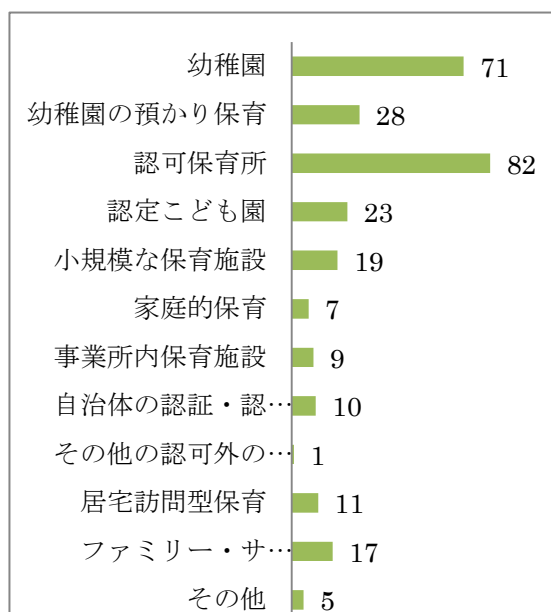
*（ 歳くらいで利用したいと考えているか？）

年齢	回答数	割合
1歳	1	3.7%
2歳	1	3.7%
3歳	7	25.9%
4歳	1	3.7%
無回答	17	63.0%
合計	27	100.0%

「子どもがまだ小さいため」が40.3%で一番多く、「利用する必要がない」が29.9%となっている。子どもが何歳になったら利用したいかとの質問には無回答が多く、具体的にはまだ決めていないものと思われる。

問 16 現在の利用の有無にかかわらず平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業について（重複回答）

区分	回答数	割合
幼稚園	71	25.1%
幼稚園の預かり保育	28	9.9%
認可保育所	82	29.0%
認定こども園	23	8.1%
小規模な保育施設	19	6.7%
家庭的保育	7	2.5%
事業所内保育施設	9	3.2%
自治体の認証・認定保育施設	10	3.5%
その他の認可外の保育施設	1	0.4%
居宅訪問型保育	11	3.9%
ファミリー・サポート・センター	17	6.0%
その他	5	1.8%
合計	283	100.0%



142人からの回答があり、「認可保育所」のみの回答が40名、「幼稚園」のみの回答が25名、「認可保育所」「幼稚園」の両方回答した人が14名いた。

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所について

区分	回答数	割合
居住している市区町村内	134	89.9%
他の市区町村	3	2.0%
無回答	12	8.1%
合計	149	100.0%

「居住している市区町村内」が89.9%となっている。

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況に関する質問

問 17 地域子育て支援拠点事業の利用状況について（重複回答）

区分	回答数	割合
地域子育て支援拠点事業を利用している	52	34.4%
その他当該自治体で実施している類似の事業を利用している	5	3.3%
利用していない	94	62.3%
合計	151	100.0%

※地域子育て支援拠点事業とは「白馬村子育て支援ルーム」のこと

地域子育て支援事業の利用回数

区分	回答数	割合
1週間当たり 1回	22	42.3%
2回	3	5.8%
1ヶ月当たり 1回	10	19.2%
2回	11	21.2%
3回	2	3.8%
無回答	4	7.7%
合計	52	100.0%

その他の事業の利用回数

区分	回答数	割合
1週間当たり 数回	0	0.0%
1ヶ月当たり 1回	3	60.0%
3回	1	20.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

146 人からの回答があり、他の自治体の事業を利用している人は地域子育て支援拠点事業も利用している。「地域子育て支援拠点事業を利用している」と回答した人のうち4歳以上児童は92名中8名で、3歳以下児童は49名中42名となっている。なお年齢不明が5名いる。「利用していない」の回答数のうち81名は4歳以上児童である。また利用回数は、「1週間当たり1回」が42.3%で一番多い。

問 18 地域子育て支援拠点事業の今後の利用について

区分	回答数	割合
利用していないが、今後は利用したい	25	19.4%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	26	20.2%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない	78	60.5%
合計	129	100.0%

利用していないが、今後利用したい

区分	回答数	割合
1週間当たり 1回	3	12.0%
1ヶ月当たり 1回	2	8.0%
2回	3	12.0%
3回	1	4.0%
4回	1	4.0%
無回答	15	60.0%
合計	25	100.0%

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

区分	回答数	割合
1週間当たり 1回	9	34.6%
2回	3	11.5%
4回	2	7.7%
1ヶ月当たり 2回	3	11.5%
3回	3	11.5%
5回	1	3.8%
無回答	5	19.2%
合計	26	100.0%

「利用していないが、今後は利用したい」が 19.4%あり、その利用回数では「無回答」が一番多く具体的な判断ができない。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 20.2%で、その利用回数は「1週間当たり 1回」が 34.6%で一番多い。

問 19 次の①から⑦の事業について

区分	知っている		利用したことがある		今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	107	30	76	60	63	61
②保健センターの情報・相談事業	87	50	37	96	77	51
③家庭教育に関する学級・講座	41	98	18	112	82	47
④教育相談センター・教育相談室	58	82	10	119	74	55
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	119	20	101	40	91	39
⑥子育ての総合相談窓口	79	62	20	112	77	50
⑦自治体発行の子育て支援情報誌	40	101	22	109	90	39

「①母親（父親）学級、両親学級、育児学級」は認知度は高く利用経験も多いが、「今後利用したい」という問いでは「いいえ」が 61 名と多い。

「②保健センターの情報・相談事業」及び「⑥子育ての総合相談窓口」は認知度は高いが利用経験が少ない。今後の利用希望は多くなっている。

「③家庭教育に関する学級・講座」、「④教育相談センター・教育相談室」及び「⑦自治体発行の子育て支援情報誌」は認知度、利用経験がともに少ないが、今後の利用希望は多い。

「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」は認知度が高く、利用経験、今後の利用希望も多い。

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望に関する質問

問 20 土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1)土曜日

区分	回答数	割合
利用する必要はない	90	60.4%
ほぼ毎週利用したい	14	9.4%
月に1～2回は利用したい	45	30.2%
無回答	0	0
合計	149	100%

ほぼ毎週利用したい 何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	7.1%
8:00	1	7.1%
8:30	2	14.3%
9:00	6	42.9%
10:00	1	7.1%
10:30	1	7.1%
12:00	1	7.1%
16:00	1	7.1%
無回答	0	0
合計	14	100%

ほぼ毎週利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
15:00	1	7.1%
15:30	1	7.1%
16:00	4	28.6%
17:00	2	14.3%
17:30	1	7.1%
18:00	2	14.3%
19:00	1	7.1%
21:00	2	14.3%
無回答	0	0
合計	14	100%

月に1～2回は利用したい 何時から

区分	回答数	割合
7:00	3	6.7%
8:00	12	26.7%
8:30	8	17.8%
9:00	12	26.7%
10:00	1	2.2%
18:00	1	2.2%
無回答	8	17.8%
合計	45	100%

月に1～2回は利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
12:00	3	6.7%
12:30	1	2.2%
13:00	2	4.4%
14:00	1	2.2%
15:00	1	2.2%
16:00	13	28.9%
16:30	1	2.2%
17:00	7	15.6%
17:30	2	4.4%
18:00	5	11.1%
20:00	1	2.2%
無回答	8	17.8%
合計	45	100%

(2) 日曜・祝日

区分	回答数	割合
利用する必要はない	102	68.5%
ほぼ毎週利用したい	9	6.0%
月に1～2回は利用したい	37	24.8%
無回答	1	0.7%
合計	149	100.0%

ほぼ毎週利用したい 何時から

区分	回答数	割合
6:00	1	11.1%
7:00	1	11.1%
8:00	1	11.1%
8:30	1	11.1%
9:00	4	44.4%
10:00	1	11.1%
無回答	0	0.0%
合計	9	100.0%

ほぼ毎週利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
12:00	1	11.1%
13:00	1	11.1%
16:00	2	22.2%
17:00	2	22.2%
17:30	1	11.1%
18:00	1	11.1%
21:00	1	11.1%
無回答	0	0.0%
合計	9	100.0%

月に1～2回は利用したい 何時から

区分	回答数	割合
7:00	3	8.1%
8:00	10	27.0%
8:30	3	8.1%
9:00	14	37.8%
10:30	1	2.7%
無回答	6	16.2%
合計	37	100.0%

月に1～2回は利用したい 何時まで

区分	回答数	割合
12:00	3	8.1%
12:30	1	2.7%
13:00	1	2.7%
15:00	2	5.4%
15:30	1	2.7%
16:00	11	29.7%
16:30	1	2.7%
17:00	6	16.2%
17:30	1	2.7%
18:00	4	10.8%
無回答	6	16.2%
合計	37	100.0%

土曜日については、「ほぼ毎週利用したい」が14名(9.4%)で、利用時間は午前9時から午後4時までの希望が一番多い。また、「月に1～2回は利用したい」が45名(30.2%)で、利用時間は9時から午後4時までの希望が一番多い。

日曜・祝日については、「ほぼ毎週利用したい」が9名(6.0%)で、利用時間は午前9時から午後4時までの希望が一番多い。また、「月に1～2回は利用したい」が37名(24.8%)で、利用時間は9時から午後6時までの希望が一番多い。

問 20-1 【問 20 で「月に 1～2 回は利用したい」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
月に数回仕事が入るため	34	59.6%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	6	10.5%
親族の介護や手伝いが必要なため	1	1.8%
息抜きのため	6	10.5%
その他	10	17.5%
合計	57	100.0%

48 人の回答より、「月に数回仕事が入るため」が 59.6%で一番多い。

問 21 【幼稚園を利用されている方】の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について

区分	回答数	割合
利用する必要はない	23	46.0%
休み期間中、ほぼ毎日利用したい	7	14.0%
休み期間中、週に数日利用したい	20	40.0%
合計	50	100.0%

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」回答者の利用希望時間

何時から

区分	回答数	割合
8:00	1	14.3%
8:30	2	28.6%
9:00	1	14.3%
無回答	3	42.9%
合計	7	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
15:30	1	14.3%
16:00	1	14.3%
16:30	1	14.3%
17:30	1	14.3%
無回答	3	42.9%
合計	7	100.0%

「休み期間中、週に数日利用したい」回答者の利用希望時間

何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	5.0%
7:30	1	5.0%
8:00	2	10.0%
8:30	5	25.0%
9:00	7	35.0%
10:00	1	5.0%
17:00	1	5.0%
無回答	2	10.0%
合計	20	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
12:00	2	10.0%
15:00	1	5.0%
15:30	2	10.0%
16:00	7	35.0%
16:30	1	5.0%
17:00	1	5.0%
18:00	3	15.0%
20:00	1	5.0%
無回答	2	10.0%
合計	20	100.0%

「休み期間中、ほぼ毎日利用したい」が 14. 0%、「休み期間中、週に数回利用したい」が 40. 0%で、利用希望時間は午前 8 時半又は 9 時から午後 4 時までが多い。

問 21-1 【問 21 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
週に数回仕事が入るため	16	59.3%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	4	14.8%
親等親族の介護や手伝いが必要なため	1	3.7%
息抜きのため	4	14.8%
その他	2	7.4%
合計	27	100.0%

20 名の回答で、「週に数回仕事が入るため」が 63. 3%で一番多い。

お子さんの病気の際の対応に関する質問（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 22 幼稚園・保育園等を利用している方で、この１年間でこどもの病気等で利用できなかったことがあったか

区分	回答数	割合
あった	78	75.7%
なかった	18	17.5%
無回答	7	6.8%
合計	103	100.0%

利用できなかったことがあったと回答した割合が 75.7%となった。

問 22-1 【問 22 で「あった」と回答した方】のこの１年間に行った対処方法について（重複回答）

区分	回答数	割合
ア. 父親が休んだ	18	15.3%
イ. 母親が休んだ	53	44.9%
ウ. （同居者を含む）親族知人に子どもを見てもらった	22	18.6%
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た	19	16.1%
オ. 病児・病後児の保育を利用した	0	0.0%
カ. ベビーシッターを利用した	0	0.0%
キ. ファミリーサポートセンターを利用した	0	0.0%
ク. 仕方なく子どもだけを留守番させた	3	2.5%
ケ. その他	3	2.5%
合計	118	100.0%

◆ケース別の日数

父親が休んだ

区分	回答数	割合
1日	1	5.6%
2日	4	22.2%
3日	4	22.2%
5日	4	22.2%
7日	2	11.1%
10日	1	5.6%
無回答	2	11.1%
合計	18	100.0%

母親が休んだ

区分	回答数	割合
1日	2	3.8%
2日	3	5.7%
3日	9	17.0%
4日	2	3.8%
5日	14	26.4%
6日	2	3.8%
7日	2	3.8%
8日	2	3.8%
10日	9	17.0%
14日	1	1.9%
15日	1	1.9%
20日	1	1.9%
25日	1	1.9%
40日	1	1.9%
無回答	3	5.7%
合計	53	100.0%

親族知人に子どもを見てもらった

区分	回答数	割合
1日	1	4.5%
2日	4	18.2%
3日	2	9.1%
5日	5	22.7%
6日	1	4.5%
7日	4	18.2%
10日	3	13.6%
15日	1	4.5%
無回答	1	4.5%
合計	22	100.0%

父親又は母親のうち就労していない方が見た

区分	回答数	割合
1日	1	5.3%
2日	1	5.3%
3日	3	15.8%
4日	1	5.3%
5日	3	15.8%
10日	1	5.3%
14日	1	5.3%
15日	1	5.3%
20日	3	15.8%
25日	1	5.3%
無回答	3	15.8%
合計	19	100.0%

仕方なく子どもだけを留守番させた

区分	回答数	割合
1日	3	100.0%
無回答	0	0.0%
合計	3	100.0%

その他

区分	回答数	割合
10日	2	66.7%
無回答	1	33.3%
合計	3	100.0%

71名の回答で「母親が休んだ」が44.9%で一番多い。また、母親が休んだ日数は、年間5日が26.4%で一番多い。「父親が休んだ」「母親が休んだ」ともに回答した人（他区分含む）が16名いた。「母親が休んだ」に回答し「父親が休んだ」に回答しなかった人（他区分含む）が37名いた。「親族知人に子どもを見てもらった」のみ回答した人が4名いた。また、「仕方なく子どもだけを留守番させた」が3名いた。

問 22-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方への質問

問 22-2 病児・病後児のための保育施設等の利用希望について

区分	回答数	割合
できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい	24	44.4%
利用したいと思わない	30	55.6%
合計	54	100.0%

利用したい日数

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1日	2	8.3%	10日	4	16.7%
2日	3	12.5%	15日	1	4.2%
3日	1	4.2%	20日	1	4.2%
5日	2	8.3%	30日	1	4.2%
6日	1	4.2%	無回答	6	25.0%
7日	2	8.3%	合計	24	100.0%

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が 44.4%ある。利用したい日数は 10 日が多いが、「無回答」も多く子どもの病気休暇の日数により変動すると思われる。

問 22-3 【問 22-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方】の望ましいとされる事業形態について（複数回答）

区分	回答数	割合
他の施設（例：幼稚園・保育所）に併設した施設で子どもを保育する事業	11	31.4%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	17	48.6%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	5	14.3%
その他	2	5.7%
合計	35	100.0%

24 名の回答のうち「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 48.6%で一番多い。

問 22-4 【問 22-2 で「利用したいと思わない」と回答した方】の理由について（複数回答）

区分	回答数	割合
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	14	27.5%
地域の事業の質に不安がある	0	0.0%
地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない	0	0.0%
利用料がかかる・高い	5	9.8%
利用料がわからない	4	7.8%
親が仕事を休んで対応する	21	41.2%
その他	7	13.7%
合計	51	100.0%

30 名の回答のうち「親が仕事を休んで対応する」が 41.2%で一番多い。

問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方への質問

問 22-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

区分	回答数	割合
できれば仕事を休んで看たい	31	68.9%
休んで看することは非常に難しい	5	11.1%
無回答	9	20.0%
合計	45	100.0%

見たかった日数

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1日	2	6.5%	7日	1	3.2%
2日	3	9.7%	10日	3	9.7%
3日	4	12.9%	15日	1	3.2%
5日	9	29.0%	無回答	8	25.8%
			合計	31	100.0%

「できれば仕事を休んで看たい」と思った方が 68.9%となった。見たかった日数は5日が一番多い。

問 22-6 【問 22-5 で「休んで看することは非常に難しい」と回答した方】のそう思われる理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
子どもの看護を理由に休みがとれない	1	20.0%
自営業なので休めない	2	40.0%
休暇日数が足りないので休めない	0	0.0%
その他	2	40.0%
合計	5	100.0%

「自営業なので休めない」が2名。「その他」では、仕事が休めない、給料が減るとの意見があった。

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用に関する質問

問 23 日中の定期的な保育や病気のため以外の、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業について（重複回答）

区分	回答数	割合
一時預かり	21	14.7%
幼稚園の預かり保育	19	13.3%
ファミリー・サポート・センター	2	1.4%
夜間養護等事業 トワイライトステイ	0	0.0%
ベビーシッター	0	0.0%
その他	0	0.0%
利用していない	101	70.6%
合計	143	100.0%

1年間の利用日数

一時預かり

区分	回答数	割合
1日	1	4.8%
2日	2	9.5%
3日	1	4.8%
5日	5	23.8%
7日	2	9.5%
10日	1	4.8%
20日	2	9.5%
24日	1	4.8%
30日	1	4.8%
40日	1	4.8%
80日	2	9.5%
無回答	2	9.5%
合計	21	100.0%

幼稚園の預かり保育

区分	回答数	割合
3日	2	10.5%
5日	1	5.3%
10日	4	21.1%
12日	1	5.3%
15日	1	5.3%
20日	2	10.5%
24日	1	5.3%
30日	2	10.5%
40日	1	5.3%
50日	2	10.5%
55日	1	5.3%
60日	1	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	19	100.0%

ファミリー・サポート・センター

区分	回答数	割合
5日	2	100.0%
無回答	0	0.0%
合計	2	100.0%

141 人の回答があり、「一時預かり」は 14.7%で、利用日数は5日が一番多い。「幼稚園の預かり保育」は 13.3%で、利用日数は 10 日が一番多い。「利用していない」が 70.6%いる。

問 23-1 【問 23 で「利用してしない」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
特に利用する必要がない	81	62.3%
利用したい事業が地域にない	10	7.7%
地域の事業の質に不安がある	6	4.6%
地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	7	5.4%
利用料がかかる・高い	11	8.5%
利用料がわからない	4	3.1%
自分が事業の対象者になるのかわからない	2	1.5%
事業の利用方法（手続き等）がわからない	3	2.3%
その他	6	4.6%
合計	130	100.0%

101 名の回答より、「特に利用する必要がない」が 62.3%で一番多い。次いで「利用料がかかる・高い」が 8.5%となっている。また、一時預かりは 2 日前までの予約となっており、急用での当日利用ができないとの回答もあった。

問 24 私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業利用の希望について

区分	回答数	割合
利用したい	70	47.0%
利用する必要はない	58	38.9%
無回答	21	14.1%
合計	149	100.0%

「利用したい」と回答した方のその目的（重複回答）

区分	回答数	割合
私用、リフレッシュ目的	34	27.2%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	41	32.8%
不定期の就労	45	36.0%
その他	5	4.0%
合計	125	100.0%

◆目的別の利用したい日数

私用、リフレッシュ目的

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1日	1	2.9%	15日	1	2.9%
2日	3	8.8%	20日	2	5.9%
3日	2	5.9%	24日	2	5.9%
5日	7	20.6%	30日	1	2.9%
6日	1	2.9%	40日	1	2.9%
7日	1	2.9%	48日	1	2.9%
10日	5	14.7%	無回答	3	8.8%
12日	3	8.8%	合計	34	100.0%

冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1日	4	9.8%	10日	7	17.1%
2日	3	7.3%	12日	2	4.9%
3日	4	9.8%	15日	1	2.4%
5日	12	29.3%	20日	1	2.4%
6日	1	2.4%	50日	1	2.4%
8日	1	2.4%	無回答	4	9.8%
			合計	41	100.0%

不定期の就労

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1日	1	2.2%	30日	4	8.9%
3日	1	2.2%	50日	2	4.4%
5日	5	11.1%	60日	1	2.2%
6日	2	4.4%	80日	2	4.4%
7日	2	4.4%	90日	1	2.2%
10日	12	26.7%	150日	1	2.2%
12日	2	4.4%	170日	1	2.2%
14日	1	2.2%	無回答	3	6.7%
20日	4	8.9%	合計	45	100.0%

その他

区分	回答数	割合
2日	1	20.0%
5日	2	40.0%
12日	1	20.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

事業を利用したいとの回答が 47.0%あった。そのうちの目的別で見ると、「私用、リフレッシュ目的」は 27.2%で利用したい日数は5日が一番多い。「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は 32.8%で利用したい日数は5日が一番多い。「不定期の就労」は 36.0%で利用したい日数は10日が一番多い。また、「無回答」が 21名いるが、そのうち 11名は4歳以上児である。

問 24-1 【問 24「利用したい」と回答した方】のこどもを預ける場合の望ましいとする事業形態について（重複回答）

区分	回答数	割合
大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）	44	43.6%
小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）	40	39.6%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）	15	14.9%
その他	2	2.0%
合計	101	100.0%

70 名の回答より、幼稚園・保育園のような大規模施設での保育が望ましいとする割合が、地域子育て支援事業のような小規模施設での保育を若干上回っている。

問 25 この 1 年間に、保護者の用事でこどもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

区分	回答数	割合
あった	25	16.8%
なかった	108	72.5%
無回答	16	10.7%
合計	149	100.0%

あった場合の対処方法について（重複回答）

区分	回答数	割合
ア・（同居者を含む）親類・知人にみてもらった	23	76.7%
イ・短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	0	0.0%
ウ・イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	0	0.0%
エ・仕方なく子どもを同行させた	6	20.0%
オ・仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%
カ・その他	1	3.3%
合計	30	103.4%

◆区分別の日数

ア・（同居者を含む）親類・知人にみてもらった

区分	回答数	割合
1日	4	17.4%
2日	4	17.4%
3日	1	4.3%
5日	4	17.4%
6日	2	8.7%
7日	5	21.7%
60日	2	8.7%
無回答	1	4.3%
合計	23	100.0%

エ・仕方なく子どもを同行させた

区分	回答数	割合
1日	2	33.3%
3日	1	16.7%
10日	1	16.7%
60日	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

カ・その他

区分	回答数	割合
5日	1	100.0%
無回答	0	0.0%
合計	1	100.0%

「あった」との回答が 16.8%あり、そのうち「（同居者を含む）親類・知人にみてもらった」が 76.7%と一番多い。日数では 60 日という回答もあった。

問 25-1 【問 25 で「ア・（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方】のその困難度について

区分	回答数	割合
非常に困難	4	17.4%
どちらかというと困難	8	34.8%
特に困難ではない	11	47.8%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

「非常に困難」、「どちらかというと困難」を合わせると 52.2%となった。

お子さんが5歳以上である方の小学校就学後の放課後の過ごし方に関する質問

問 26 小学校低学年時（1年生から3年生）の、放課後に過ごさせたい場所について（重複回答）

区分	回答数	割合
自宅	39	34.5%
祖父母宅や友人・知人宅	11	9.7%
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	32	28.3%
児童館	4	3.5%
放課後子ども教室	9	8.0%
放課後児童クラブ（学童保育）	14	12.4%
ファミリー・サポート・センター	1	0.9%
その他（公民館、公園など）	3	2.7%
合計	113	100.0%

◆区分別の過ごさせたい週当たりの日数

自宅

区分	回答数	割合
1日	2	5.1%
2日	6	15.4%
3日	7	17.9%
4日	6	15.4%
5日	10	25.6%
7日	1	2.6%
無回答	7	17.9%
合計	39	100.0%

祖父母宅や友人・知人宅

区分	回答数	割合
1日	3	27.3%
2日	2	18.2%
3日	2	18.2%
無回答	4	36.4%
合計	11	100.0%

習い事

区分	回答数	割合
1日	11	34.4%
2日	8	25.0%
3日	8	25.0%
4日	1	3.1%
無回答	4	12.5%
合計	32	100.0%

児童館

区分	回答数	割合
5日	1	25.0%
無回答	3	75.0%
合計	4	100.0%

放課後子ども教室

区分	回答数	割合
1日	4	44.4%
2日	1	11.1%
3日	2	22.2%
無回答	2	22.2%
合計	9	100.0%

放課後児童クラブ(学童保育)

区分	回答数	割合
2日	3	21.4%
3日	3	21.4%
4日	1	7.1%
5日	5	35.7%
無回答	2	14.3%
合計	14	100.0%



その他(公民館・公園など)

区分	回答数	割合
1日	1	33.3%
2日	1	33.3%
無回答	1	33.3%
合計	3	100.0%

下校時から何時まで

区分	回答数	割合
17:00	6	42.9%
18:00	4	28.6%
18:30	2	14.3%
無回答	2	14.3%
合計	14	100.0%

子どもが5歳以上の方への質問だが5歳未満からの回答もあり、合わせて49名の回答があった。「自宅」が34.5%で一番多く、「習い事」が28.3%、「放課後児童クラブ(学童保育)」12.4%となっている。複数回答では「自宅」「習い事」と回答した人が12名で一番多い。過ごさせたい週当たりの日数では、「習い事」では1日から3日までを合わせた割合が84.4%となり、「放課後児童クラブ(学童保育)」では5日が一番多く、また「下校時から何時まで」の質問では午後5時から午後6時30分までの回答があった。

問27 小学校高学年時(4年生から6年生)の、放課後に過ごさせたい場所について(重複回答)

区分	回答数	割合
自宅	42	34.4%
祖父母宅や友人・知人宅	12	9.8%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	41	33.6%
児童館	2	1.6%
放課後子ども教室	10	8.2%
放課後児童クラブ「学童保育」	10	8.2%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
その他(公民館、公園など)	5	4.1%
合計	122	100.0%

◆区分別の過ごさせたい週当たりの日数

自宅

区分	回答数	割合
1日	4	9.5%
2日	11	26.2%
3日	10	23.8%
4日	5	11.9%
5日	5	11.9%
7日	1	2.4%
無回答	6	14.3%
合計	42	100.0%

祖父母宅や友人・知人宅

区分	回答数	割合
1日	5	41.7%
2日	2	16.7%
無回答	5	41.7%
合計	12	100.0%

習い事

区分	回答数	割合
1日	7	17.1%
2日	15	36.6%
3日	9	22.0%
4日	3	7.3%
5日	1	2.4%
無回答	6	14.6%
合計	41	100.0%

児童館

区分	回答数	割合
無回答	2	100.0%

放課後子ども教室

区分	回答数	割合
1日	4	40.0%
2日	1	10.0%
3日	2	20.0%
無回答	3	30.0%
合計	10	100.0%

放課後児童クラブ「学童保育」

区分	回答数	割合
1日	2	20.0%
2日	3	30.0%
3日	1	10.0%
5日	1	10.0%
無回答	3	30.0%
合計	10	100.0%



下校時から何時まで

区分	回答数	割合
16:00	1	10.0%
17:00	4	40.0%
18:00	1	10.0%
18:30	1	10.0%
無回答	3	30.0%
合計	10	100.0%

その他(公民館・公園など)

区分	回答数	割合
1日	2	40.0%
2日	1	20.0%
無回答	2	40.0%
合計	5	100.0%

問 26 同様 49 名の回答があった。「自宅」が 34.4%で、「習い事」が 33.6%、「放課後児童クラブ(学童保育)」8.2%となっている。複数回答では「自宅」「習い事」と回答した人が 15 名で一番多い。過ごさせたい週当たりの日数では、「習い事」では 2 日が一番多く、「放課後児童クラブ(学童保育)」では 2 日が一番多く、また「下校時から何時まで」の質問では午後 5 時が一番多かった。

問 28 【問 26 または問 27 で、「放課後児童クラブ」と回答した方】の土曜日と日曜・祝日の利用希望について

土曜日

区分	回答数	割合
低学年(1～3年生)の間は利用したい	4	23.5%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	6	35.3%
利用する必要はない	6	35.3%
無回答	1	5.9%
合計	17	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	25.0%
8:00	2	50.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
13:00	1	25.0%
17:00	2	50.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	100.0%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8:00	1	16.7%
8:30	2	33.3%
9:00	1	16.7%
10:00	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
16:00	2	33.3%
17:00	1	16.7%
18:00	1	16.7%
18:30	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

日曜・祝日

区分	回答数	割合
低学年(1～3年生)の間は利用したい	3	17.6%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	6	35.3%
利用する必要はない	7	41.2%
無回答	1	5.9%
合計	17	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	33.3%
8:00	2	66.7%
合計	3	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
13:00	1	33.3%
17:00	2	66.7%
合計	3	100.0%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8:00	1	16.7%
8:30	2	33.3%
9:00	1	16.7%
10:00	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
15:00	1	16.7%
16:00	2	33.3%
17:00	1	16.7%
18:30	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

「土曜日」では、低学年までは利用したいとの回答が4名あり、高学年になっても利用したいとの回答が6名あった。「日曜・祝日」では、低学年までは利用したいとの回答が3名あり、高学年になっても利用したいとの回答が6名あった。利用したい時間帯については、土曜日、日曜・祝日とも、低学年は朝から昼過ぎまでと夕方までとに回答が分かれたが、高学年では朝から夕方までの回答となった。

問 29 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について

区分	回答数	割合
低学年(1～3年生)の間は利用したい	6	15.4%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	11	28.2%
利用する必要はない	22	56.4%
合計	39	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	16.7%
8:00	1	16.7%
9:00	1	16.7%
無回答	3	50.0%
合計	6	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
13:00	1	16.7%
16:00	1	16.7%
17:00	1	16.7%
無回答	3	50.0%
合計	6	100.0%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8:00	5	45.5%
8:30	2	18.2%
9:00	2	18.2%
10:00	1	9.1%
無回答	1	9.1%
合計	11	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
16:00	3	27.3%
17:00	3	27.3%
18:00	4	36.4%
無回答	1	9.1%
合計	11	100.0%

子どもが5歳以上の方への質問だが5歳未満からの回答もあり、合わせて39名の回答があった。低学年までは利用したいとの回答が6名あり、高学年になっても利用したいとの回答が11名あった。利用したい時間帯については、土曜日、日曜・祝日とも、低学年は朝から昼過ぎまでと夕方までとに回答が分かれたが、高学年では朝から夕方までの回答となった。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度に関する質問

問 30 こどもが生まれた時の育児休業の取得について

母親

区分	回答数	割合
働いていなかった	86	58.1%
取得した(取得中である)	23	15.5%
取得していない	39	26.4%
合計	148	100.0%

母親の取得していない理由について(重複回答)

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	2.0%
仕事が忙しかった	8	15.7%
(産休後に)仕事に早く復帰したかった	2	3.9%
仕事に戻るのが難しそうだった	2	3.9%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
収入減となり、経済的に苦しくなる	3	5.9%
保育所(園)などに預けることができた	0	0.0%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	9	17.6%
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8	15.7%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	2	3.9%
育児休業を取得できる事を知らなかった	0	0.0%
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得することを知らず、退職した	3	5.9%
その他	13	25.5%
合計	51	100.0%

父親

区分	回答数	割合
働いていなかった	2	1.4%
取得した(取得中である)	5	3.6%
取得していない	133	95.0%
合計	140	100.0%

父親の取得していない理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	23	10.6%
仕事が忙しかった	45	20.7%
（産休後に）仕事に早く復帰したかった	1	0.5%
仕事に戻るのが難しそうだった	3	1.4%
昇給・昇格などが遅れそうだった	1	0.5%
収入減となり、経済的に苦しくなる	33	15.2%
保育所（園）などに預けることができた	3	1.4%
配偶者が育児休業制度を利用した	10	4.6%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	48	22.1%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	27	12.4%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	4	1.8%
育児休業を取得できる事を知らなかった	4	1.8%
産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得することを知らず、退職した	0	0.0%
その他	15	6.9%
合計	217	100.0%

母親については、「取得した（取得中である）」が23名（10.6%）あり、「取得していない」が39名（26.4%）となった。取得していない理由は、「仕事が忙しかった」、「子育てや家事に専念するため退職した」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の回答が多かった。

父親については、「取得した（取得中である）」が5名（3.6%）あり、「取得していない」が133名（95.0%）となった。取得していない理由は、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の回答が多かった。

なお、取得していない理由の「その他」についてはほとんどが自営業のためである。

問 30-1 育児休業給付（1歳まで）、健康保険及び厚生年金保険の保険料免除（3歳まで）の仕組みについて

区分	回答数	割合
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	35	23.5%
育児休業給付のみ知っていた	33	22.1%
保険料免除のみ知っていた	2	1.3%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	66	44.3%
無回答	13	8.7%
合計	149	100.0%

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が44.3%で一番多い。育児休業給付を知っていたと回答した68名のうち、問30で「働いていなかった」の回答が36名、「取得した（取得中である）」の回答が17名、「取得していない」の回答が15名あった。

問 30-2 【問 30 で「取得した（取得中である）」と回答した方】の育児休業取得後の職場に復帰について

母親

区分	回答数	割合
育児休業取得後、職場に復帰した	18	78.3%
現在も育児休業中である	5	21.7%
育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

父親

区分	回答数	割合
育児休業取得後、職場に復帰した	4	80.0%
現在も育児休業中である	0	0.0%
育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

母親、父親とも「育児休業取得後、職場に復帰した」の回答が一番多い。

問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方への質問

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったか

母親

区分	回答数	割合
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	4	22.2%
それ以外だった	14	77.8%
合計	18	100.0%

父親

区分	回答数	割合
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	25.0%
それ以外だった	3	75.0%
合計	4	100.0%

母親、父親とも「それ以外だった」の回答が一番多い。

問 30-4 実際に育児休業から職場復帰した時のお子さんの年齢とその希望について

母親

実際の取得期間

区分	回答数	割合
0歳1ヶ月	2	11.1%
0歳2ヶ月	1	5.6%
0歳3ヶ月	1	5.6%
0歳5ヶ月	1	5.6%
0歳6ヶ月	1	5.6%
0歳7ヶ月	2	11.1%
0歳11ヶ月	1	5.6%
1歳0ヶ月	5	27.8%
2歳9ヶ月	1	5.6%
3歳0ヶ月	2	11.1%
3歳4ヶ月	1	5.6%
合計	18	100.0%

希望

区分	回答数	割合
0歳3ヶ月	1	5.6%
1歳0ヶ月	7	38.9%
1歳6ヶ月	2	11.1%
2歳4ヶ月	1	5.6%
3歳0ヶ月	2	11.1%
無回答	5	27.8%
合計	18	100.0%

父親

実際の取得期間

区分	回答数	割合
0歳1ヶ月	2	50.0%
0歳2ヶ月	1	25.0%
無回答	1	25.0%
合計	4	100.0%

希望

区分	回答数	割合
0歳3ヶ月	1	25.0%
0歳11ヶ月	1	25.0%
無回答	2	50.0%
合計	4	100.0%

母親については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の回答のうち3名が概ね3年取得しており希望も同じ期間である。「それ以外だった」の回答のうち13名が1ヶ月から1年の取得で、1年の希望が多い。

問 30-5 勤務先に育児のために3歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望取得年齢について

母親

区分	回答数	割合
1歳0ヶ月	4	18.2%
2歳0ヶ月	4	18.2%
3歳0ヶ月	13	59.1%
3歳3ヶ月	1	4.5%
合計	22	100.0%

父親

区分	回答数	割合
1歳0ヶ月	6	75.0%
3歳0ヶ月	2	25.0%
合計	8	100.0%

母親については3歳までの希望が59.1%となったが、父親では1歳までの希望が75.0%を占めた。

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方への質問

問 30-6 希望の時期に復帰しなかった理由について

(1)「希望」より早く復帰した方(重複回答)

母親

区分	回答数	割合
希望する保育所に入るため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	1	7.1%
経済的な希望で早く復帰する必要があった	7	50.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	28.6%
その他	2	14.3%
合計	14	100.0%

父親

区分	回答数	割合
希望する保育所に入るため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
経済的な希望で早く復帰する必要があった	1	50.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	0	0.0%
その他	1	50.0%
合計	2	100.0%

(2)「希望」より遅く復帰した方(重複回答)

母親

区分	回答数	割合
希望する保育所に入れなかったため	2	100.0%
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
子どもを見てくれる人がいなかったため	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	2	100.0%

父親

区分	回答数	割合
希望する保育所に入れなかったため	0	0
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0
配偶者や家族の希望があったため	0	0
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0
子どもを見てくれる人がいなかったため	0	0
その他	0	0
合計	0	0

「希望」より早く復帰した方については、「経済的な希望で早く復帰する必要があった」が一番多かった。

問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方への質問

問 30-7 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について

母親

区分	回答数	割合
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間労働だった)	9	50.0%
利用した	5	27.8%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3	16.7%
無回答	1	5.6%
合計	18	100.0%

父親

区分	回答数	割合
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間労働だった)	4	100.0%
利用した	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	4	100.0%

母親で、「利用した」と回答した方が 27. 8%あった。

問 30-7 で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方への質問

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由について（重複回答）

母親

区分	回答数	割合
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	2	33.3%
仕事が忙しかった	2	33.3%
短時間勤務にすると給与が減額される	1	16.7%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもを見てくれる人がいた	1	16.7%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	0	0.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	6	100.0%

父親

区分	回答数	割合
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	0	0.0%
仕事が忙しかった	0	0.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	0	0.0%
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもを見てくれる人がいた	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	0	0.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	0	0.0%

回答数が少なく判断できない。

問 30-2 で「現在も育児休業中である」と回答した方への質問

問 30-9 こどもが 1 歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得について

母親

区分	回答数	割合
1歳になるまで育児休業を取得したい	5	100.0%
1歳になる前に復帰したい	0	0.0%
合計	5	100.0%

父親

区分	回答数	割合
1歳になるまで育児休業を取得したい	0	0
1歳になる前に復帰したい	0	0
合計	0	0

母親の全員が「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した。

問 31 白馬村における子育ての環境や支援への満足度について（満足度が低い 1 ⇔ 5 満足度が高い）

区分	回答数	割合
1	18	12.1%
2	38	25.5%
3	58	38.9%
4	29	19.5%
5	4	2.7%
無回答	2	1.3%
合計	149	100.0%

満足度が低い



満足度が高い

平均すると「2.75」となりやや満足度は低い傾向にある。

問 32 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見について（自由回答）

区分	回答数	割合
A 支援ルーム・保育園の保育内容に対する要望	3	2.2%
B 支援ルーム・保育園の施策に対する要望	18	12.9%
C 未満児、保育人数等 拡大に対する要望	12	8.6%
D 障害者関係に対する要望	2	1.4%
E 病児、病後児の保育の場に対する要望	7	5.0%
F 観光地、自営業、繁忙期への特別サポートの要望	9	6.5%
G 保育園、支援ルームの職員に対する要望	5	3.6%
H 利用料金、補助金に対する要望	8	5.8%
I 送迎バスに対する要望	2	1.4%
J 村に対する要望	8	5.8%
K 地域に対する要望	1	0.7%
L 幼稚園、小学校、中学校 関連	6	4.3%
M 公園、雨の日、雪の日に遊べる施設等の要望	40	28.8%
N その他	18	12.9%
合計	139	100.0%

問32の意見（集約版）

A	セカンドステップ(子どもの衝動的・攻撃的な行動を和らげて社会生活を円滑に送れることを目標とした教育プログラム)を全員にやってほしい。 (予防接種や行事等)幼稚園、保育園、福祉、小中高で連携を取り予定が被らないように調整すべきである。
B	一時保育は、金土はしろうま保育園になるが、子どもが小さいことから同じ場所で過ごさせたい。 一時保育は2日前に予約しないといけないが、当日でも預かってもらいたい。 小学生でも土日預かってもらえる施設を希望する。 支援ルームは午前中年齢別になっているため利用づらい。
C	生後10か月未満の預け先と保育園の未満児枠を増やしてほしい。
D	発達障害の子どものリハビリの場、親の相談できる場が広がるとよい。
E	共働きなので子どもが病気でも預かってもらえる施設を作してほしい。
F	観光業で一番忙しい期間(お盆・年末年始・祭日等)に預かってもらえる制度がない。 夕方から夜にかけて預かってもらえる場所があればよい。 3歳以上児で、土日等に小学校の兄弟と一緒に預けられる場所があればよい。
G	支援ルームで子どもが泣くからと帰されたことがあり、しっかり預かってほしい。
H	他の地域にある第3子、第4子に対するお祝い給付があればよい。
I	保育園の送迎バスはだれでも利用できるよう村内全域を回してほしい。
J	放課後子ども教室があればよいと思う。 子育て環境とともに求職しやすく、利用しやすい制度ができればよい。
K	地域が学校内部に入り込み、地域として子育てしていく体制が必要である。
L	全国学力テストの結果など公表してほしい。 放課後児童クラブは夏だけでなく冬も土曜利用できるようにしてほしい。 小学校の通学は1人では危ないので地域毎で班になり団体で通学させてほしい。
M	どの年齢でも自由に使える屋内施設がほしい。 安全して遊べる公園を整備してほしい。 雨天の際子どもを連れて行ける場所がない。 オーストラリアにあるトライブライリー(家庭で不要になったおもちゃを持ち寄って図書館のように貸出する施設)の施設があるといい。 支援センターなどの施設が北城にあり、神城からは遠くて遊ばせに行くのが大変である。
N	医療機関の休診日等の前日、前々日には副作用の出るような予防接種は避けてほしい。 近所の方に子どもの顔を覚えてもらい知り合いになれるイベントがあるとよい。

問32の個別意見

A	北小中学に入るのが不安。(いじめ等) 保育園などでキッズウイルでやっている、セカンドステップを全員に対してやってほしい。
A	支援ルームのイベントなど もう少し早目からにしてもらえないと、お昼ご飯にかかったり、お昼を食べずに寝てしまい困る。
A	教育機関同士がしっかりと連絡を取り合って情報交換をしたり、年間行事予定表を作成したら、それぞれの予定が被らないように、前もって調整すべき。(予防接種や重大行事等) 幼、保、福祉、小中高で仲良く連携してください。いつも何かかぶっています。
B	1歳から子どもを預け働きましたが、1歳児の場合、しろうま保育園がいっぱい支援ルームだとお休みが金、土曜日で、その2日間は白馬保育園での保育になります。まだ子供が小さかったので、できれば同じ場所で安心して過ごしてほしいという思いがあって、結局金曜日は家族で相談し、何とかお休みを取っていました。できれば平日預かってほしいものですね。
B	支援ルームの対応が悪い。施設利用説明に書いてある事と、実際の対応が違いすぎる！人を増やすとか、説明を増やすなどの対応を考えた方が良いと思う。
B	保育園、朝の時間は仕方ないが夕方のお迎えの時間が中途半端。5時前後じゃないと普段サラリーマンの人などは絶対に延長になってしまうのでちゃんと就職する事ができない。
B	人を掛ける所がちがう！！人件費 妊娠中や育児中の妊娠についてはポイントに関係なく3ヶ月ぐらいいは保育園の受け入れをしてほしい。何が少子化だ！！支援ルームの一時預かりも
B	急病の場合は当日受けもしてほしい。
B	支援ルームが2日前に予約しないといけけないので突然でも預かってもらえたら助かります。
B	保育園の園庭が狭い
B	職業柄、年間で忙しい時期にバラつきがあるので忙しい時だけ子供を保育してもらえると非常に助かるが申請してから認定までの時間がかかるため仕事、子育て共に不安になってしまうので早目に返事をしてもらえることが(だめなら受け入れる仕事を減らすか、従業員の雇用を考えなくてはいけなくなり)今後の身の振り方に影響が出てくる。
B	特別な理由がなくても預けられる施設があるといい。
B	共働きが増える中で子育て支援を家庭の外で求む状況が多くなっている所以子どもを安心して預けられる場所が必要不可欠だと感じる。
B	来春小学校入学で、今の仕事だと土日働く事がある為預かってもらえる施設を希望しています。
B	本当は土日は子供達と一緒に過ごしたいけれど、白馬村というところは土日の休みを希望すると正直働くところが少なすぎる。今までは幼稚園の土曜保育などを利用していたが、この先どうすればよいのかとても不安です。
B	支援ルームは曜日が決まっているので、好きな時には行かない。
B	支援ルームは午前中は年齢別になっている為利用しづらいと感じています。(公園が少ない)
B	保育園及び子育て支援ルームに預けられる月齢を早くして欲しい。現在、満10か月ですが、せめて支援ルームは満6ヶ月程から預かってもらえる様にしてほしいです。
B	もっと気軽に託児をお願いできる施設が欲しい。(当日でもOKの)
B	今の支援センターも 火・水・木と年齢別利用となっており、それはそれで、同年代の子供と安心して遊ぶことができ、ありがたいが、それ以外の年齢の子も遊べる場(例えば午前中利用していない学童の部屋(ふれあいセンター))があると嬉しい。
B	子育て支援ルームのような施設がもう少し充実していると良いと思う。(場所を増やす、利用時間etc)
C	未満児 保育人数の拡大
C	家はもう4歳なので幼稚園に通っていますがこれからはたらかしたいおかあさんの為にも未満児保育は今後充実して欲しいと願っています。よろしくお願いします。
C	結局サービス業に就くと余分な保育費がかかる。仕事が決まっていないと未満児に入れ(前年度の10月に決定して4月から働く方なんてほんの一握りでしょう！) 保育園の未満児の申込期。間に無理があるのでは？
C	生後10か月未満の預け先と保育園の未満児保育の枠を増やしてほしい。
C	未満児の受け入れに限られてい過ぎる
C	未満児で入園できる施設が増えると嬉しいです。
C	保育園に上がる前は、支援ルームを時々利用させていただきましたが、保育園の未満児に入れてもらいたかったです。。しかし、家に祖父母(全く頼れず預けたことはありません)がいるし、私の仕事も季節性のあるものだったり、金額(保育料)も高いと感じたのであきらめて仕事をセーブしました。生活は苦しいです。
C	保育園も未満児の枠が狭く、働きたい若い世代の芽をつぶしているように思う。今の支援センターを未満で使うとかして枠を広げられないのか。。。？と思う。
C	未満児を預けられる場所を作って欲しい。保育園で定員オーバーならば、こども園など。少子化、過疎化をストップさせたいなら、子育て世代が、仕事を続けられて子育てでもできる環境を作るべきだと思う。

C	未満児の保育拡大の希望
C	保育園の未満児受入れの枠が少なすぎる。せっかく保育園を統合したのなら、未満児の待機児童がないような体制を作って欲しい。統合しない方が手厚い保育ができていたのでは・・・と思ってしまう。
C	昨年、未満児保育に申し込みましたが、母親が休職中だった為、保育園の受け入れは難しい(就労先が決まっている人が優先)と担当者さんに言われました。しかし、求職するにあたっては保育してくれるところを、明確にしないとダメ。とハローワークでは言われました。矛盾を感じました。
D	療育施設を村内で設立などサービスが整うことを願います。
D	発達障害の子どものリハビリの場、親の相談できる場がもっと広がるとよいなと思います。
E	病児、病後児 保育の場
E	安心できる病院がないのでいざ病気になった際、不安
E	ファミリーサポート制度や病児・病後保育など充実してくることを願います。
E	共働きでないと厳しいので子どもが病気でもあずかってもらえる施設を作って欲しい。
E	子供の病気の治りかけの時、後1日本当は休ませたいけど仕事で休ませられない ときの預けられる場所があるとありがたい。
E	今パートをして困ることは子供が病気の時です。パートで主に夏、冬、週末が忙しい仕事なので、せっかくある仕事を休むわけにいかず、熱のある子供を職場に連れて行ったりしています。
E	病児保育については、出来る事なら早急に取り組んでほしい。両親とどうしても休みを取れない場合、頼める親族が近くにいない場合すぐに頼めない場合等あるので、ぜひお願いしたい。ファミリーサポートもありがたいが、金銭的にそこまでお願いするまでもない場合もあるので(流行性の病気のクラス閉鎖等で自分の子より患っていない時など)対策を考えて頂けるとありがたい。
F	白馬村は観光業に関わっている人が多いと思うが一番忙しいお盆・年末年始、祭日など安くあずかってくれる公共の所がない。ファミリーサポートも高く長い時見てもらえない。
F	観光地なのに土日が休みな保育園では、やっていけない方が多数だと思う
F	白馬は子どもの夏休み冬休み休日に忙しく仕事が多い土地柄で働くにはいろいろなサポートが必要だと思います。
F	自営業の為、ファミリーサポートの方にたくさん助けていただきました。白馬という土地では多分年末年始が大変忙しいと思われる。この時期にサポートしてくれるところがありません。難しいと思いますが助けてもらえる所があるとありがたいです。、
F	時間外(お盆や年末年始)に預かってもらえない。
F	自営業の為、1年通して毎日同じ、仕事の量ではないがオフシーズンでお客様が、いない日でも季節別にやらないといけない事もある。今年度の未満児の入園は昨年度のお客様が入った日数でとなり入園出来ない月が発生したが、今年のお客様が入る日数はまた別で自営であればある程、仕事に日数及び時間予想不可能である。日中預かってほしい日もあるが、お客様の夕食時、夕方～夜にかけて、見てくれる場所があれば、安全で、安心して子育てができると思う日もある。
F	白馬村(観光地・サービス業メイン)という土地柄なのに、土・日・祝日・年末年始・長期にわたる休日時に無料で利用できる子育て支援の場がなくて困る。(前例がないとかカレンダー通りとかで。。。)
F	白馬村は観光立村なので、仕事は多くが、土日、祝日、年末年始などの休日が勤務条件となっています。未満児などは支援ルームに預けることができて、幼稚園に通いだす年にもなると、支援ルームで1日過ごさせることは子どもにストレスがかかると思うので、小学生の兄弟などがいても、一緒に見てもらえるようなところがあつたらな～と思います。それがネックで、働きたくても働けないというお母さん方の声を耳にします
F	自営業者が多い観光の村であるにも関わらず、子育ての体制は土日、祝日休みのカレンダー通りの市町村と変わりがなく、特に繁忙期の子育ては厳しい状況と思われる。
G	現在しろうま保育園の年少ですが、先生達の質が悪すぎる。来年からは幼稚園に変更するつもり。
G	支援ルームの預かりが本当に使えない。リフレッシュの為にでも利用可のはずなのにとても預けられる状態ではない。泣く子はお断りなど おかしな対応が目立つ。「泣きすぎるとトラウマになるからかわいそう」などと言われたり、利用手引きに書いていない「慣らし保育期間がないと1日は預かれない」と言われたり。本当に困って相談したのにとてもガッカリしたリフレッシュではない必要な用事でしたが結局預かりはあきらめました。一体、誰の何の為のサービスなのでしょう。か？他の母親たちに聞いてもかなり評判が悪いです。
G	支援ルームに一時保育をお願いした際、子供が泣くからと言ってすぐ帰された。必要だから預けているので、せめてその時間内は、しっかり預かってほしい。
G	教育・保育に関わる方々の中には、まだまだ古い考え方をしている方がいる。例えば、「子どもが無口なのは母親の愛情不足。仕事辞めるべき。」という態度だったりする。それぞれの家庭中の努力を認めて、前向きに支援してほしい。かなり心を痛めている者の1人です。先生方の教育をし直してほしいです。
G	以前保育に関る方から、このようなことを言われました。もう少し一緒に居てあげたら・・・お互いに歩み寄らないと・・・一緒に居てあげたいのは、どの母親も思っていると思います。悲しいのと、呆れて言葉が出ませんでした。嫌な思いをせず、入所できたらと思いました。
H	他の地域では、第3子、第4子にお祝いが給付されることがあるのに、白馬村ではないので格差を感じ残念です。
H	もう少し料金を下げて欲しい。

H	地域により、同年代の子どもがかなり少なく、小学生の姉は放課後 友達の家遊びに行きたくても自転車で行ける距離で。。。など制約が出てしまい、かわいそう。村のスポーツ等の教室の利用額がもう少し安ければ更に満足。
H	もっとお金をかけずに、子供を安心して、預けられる所があってほしい。
H	地方の自治体によっては出産祝い金をくれる所があるようで、私が子どもの時と比べ、子どもの数も減り、また友達も白馬村を出てしまっているのが現状です。そういう部分での支援等があれば村の活性化も少しは期待できるんじゃないでしょうか。
H	幼稚園や保育園の料金が結構高く、共働きしないと経済的に厳しいのですが、現在妊娠中でまだしばらくは働けないので、補助金など金銭的な支援をもっとしてほしいです。子どもは欲しいけど金銭的な不安から子どもを作ろうとしない人も増えてきていると思います。そういった人を増やさないような対策を考えて欲しいです。
H	例えば、ガソリン代が高かったり、スーパーが3件しかないような、生活するのに他の地域より金銭的に困難なこの村で、子どもを産み育てる若い世代が多にいるというのに村からの助けがほほない！！ もっと他から居住し、家庭を作っていく若い世代(村の人口を増やしてるのは、ココ！！)を大切にしてほしい！！
H	今の時代、少子化と言われていますが、白馬村は2人3人、4人と産んでる方が多いと思います。みなさん一生懸命がんばって子育てしていると思います。もう少し行政での、補助が受けれると助かります。
I	保育園の送迎バス、地区ごとバス停を決め、村内全域まわることも考えて欲しい。有料でいいと思います。観光地白馬で宿業をやっている方も多くいます。せめて冬期間だけでも考えてもらえないのですか？スクールバスも含め、検討していただきたい。
I	保育園での送迎バスは、遠方だけでなく誰でも申し込みができるようにしてほしい。バス送迎があれば、土日の保育の利用価値も上がる。兄弟がいたり仕事で送迎できない時期もあるのでバスの送迎の枠も増えると助かる。
J	子育て支援が少ない(村からの)
J	基本的に白馬村の子育て環境は良くない。役場の人の対応も悪い。村民の為に働いているという意識が低い。
J	結局 お役所仕事なのかもしれないが、土、日、祝日、年末年始、GW、お盆休み。。。一般の人が休みでも働いている人はたくさんいる所だし、働く人達も必要とされている中で、働きたくても働けない若い人達がいて、“カレンダー通り”に悩まされている人達の事を子育て世代にかかわらず、何とかしてもらいたい。
J	このようなアンケートを取っただけで満足しないでアンケートを取って村民と向かい合っているという気にならずに現場に行ってみて現場の声を聴いて頂いた方が、良いのではないかと思います。アンケートは所詮アンケート集計するだけなら、行わない方が良いのではないのでしょうか。
J	子育て支援を行政としてどのような事を、いつやっているか、把握しにくい
J	問26にある「5.放課後子ども教室」というのは、白馬村では聞いたことがありませんが、あればいいのにとします。よろしくお願いします。
J	生活苦の中、働きに出なければいけなくなりますが、保育園に入所する事が困難な為、もう少し、働きやすい環境を整えたいと思います。村営保育園と幼稚園があればよいのではないのでしょうか。経済的に余裕がある家庭よりも、余裕がない家庭の方が子どもの数が多いと思われます。環境が良くなしてほしいと思います。
J	現在は就労していますが、家事育児をしながら常勤で働くのは無理でパートとして働いています。福利厚生や手当などパートにはほとんどないので、がんばって働いても保険料として、ほとんど出てしまいます。子育てをしながら働く事には、非常に困難さを感じています。子育て環境とともに、求職しやすく、パートや常勤に関わらず、利用しやすい制度ができればいいと願っています。
K	地域が学校内部にもっと入り込み先生のみならず地域として子育てしていく体制が必要だと感じています。白馬で育てて良かったなれるように、教育そして金銭面でのサポートがあればと思います。
L	小学生ですが低学年で一人ではまだ安心できない子など、やはり週末もあるといいと思う。なぜ忙しい冬の土曜日が無いのでしょうか？
L	小学生の「放課後子ども教室」が白馬村の中でどの事業のことなのか知りたい。
L	白馬中学での教育内容に関心があります。全国学力テストの結果など広く公表して頂きたいです。
L	白馬村に野外保育園(森のようちえん)があれば嬉しい。 村内・小谷村居住の方でそういった希望があることをよく耳にしますが、実現に至らず残念。
L	学童も、夏だけでなく冬も土曜利用させてほしい。できたら日曜も利用できるようにしてほしい。
L	小学生の通学は個別ではなく、地域毎で班になり、団体で通学(行も帰りも)させて欲しい。1人2人だけでは危険です！！
M	公園がほとんどないのでかなり不満です。支援ルームがありますが、曜日や時間が限られているので、子どもを充分に遊ばせてやる事ができません
M	子どもが安全に遊べる遊具等がある公園があるといい遊具がなくても多々の芝生広場でもグリーンスポーツみたいなところで、あと室内で遊べる場所
M	公園がない
M	身近な所に、気軽に通える公園や室内で遊べる場所があるといい。

M	村内に気軽に利用できる公園が少ないと思います。
M	幼稚園の帰りや休日に子どもたちが遊べる公園を作って欲しい。今ある公園は安全面で心配な場所（飯森神社うら、飯田神明社、、、人目がない）グリーンプは年齢が高い子向きetc幼児が親と安心して遊べかつ、同じくらいの友達が集まれるような場所がない為
M	公園が全くないのはどうしてですか？保育園や幼稚園など以外でも各地域に1つは公園があってもいいのではないのでしょうか？神城から気楽に支援センターとかに行くのはたいへん
M	もっと子供たちが安全に遊べる公園を整備してほしいです。
M	南小と北小の教育に差がありすぎる(勉強も運動も)
M	公園がない。遊具がない。
M	曜日に関係なく、どの年齢でも自由に使える屋内施設が欲しい。
M	有料であってもいいので、遊具の充実した施設が欲しい。
M	遊具など設置しており、気軽に行ける公園などが無い。
M	子連れで行ける施設がない(買い物など)
M	歩いて行ける近所に公園があると良い
M	屋内の子どもが遊べる場所がもう少しあると良い。
M	木のボールプールなど、他県でよく見てあそびました。とてもよいです。
M	小さな子供が安心して遊べる公園が欲しい。遊具がないと思う。
M	大きな公園を作るか、グリーンスポーツを小さい子供向けに改善したり遊具を増やして欲しい。
M	平日に毎日遊べる屋内の施設があると助かります。
M	子育ての環境も悪いと思います。未満児の子どもが遊べる公園がない。グリーンスポーツの遊具は小さい子には危険なものが多い。滑り台が急すぎるし階段が石でできていて危ない。遊具が小学生向けだと思います。子どもが小さい頃は町のやしろ公園、西公園プールは小川村、図書館は小谷村へ行っていました。白馬村は本当に子育てしにくい村だと感じています。今後、次世代の子育てする方たちのためにも子育てしやすい村にしてください。お願いします。
M	地域にもう少し大きな公園があったらよいと思います。
M	白馬村には安心して子どもを遊ばせる公園が全くないので1つでもいいのでゆうぐが適度にある公園を作って欲しい。
M	子供と遊ばせる身近な公園が少ないのが残念です。グリーンスポーツの森では幼児が遊べる遊具が少なくます。
M	公園に行くために大町や長野市まで車を走らせないといけないので、白馬村民が気軽に利用できる公園、遊具がの設置を希望します。
M	小さくてもいいからもっと各地区に公園が欲しい。ブランコとか。
M	白馬には子ども同士が知り合って遊べる場所が少ない。(ほぼない。)
M	公園の遊具や室内の遊び場を充実させてほしい。
M	白馬内には雨天の際子どもを連れて行ける場所がない、冬が長く雨も多いので、屋内もしくは屋根付きの公園のような所があるととても助かる。
M	主人の国のオーストラリアにはトイ・ライブラリーという、公共のおもちゃの貸し出し施設がある。各家庭がいなくなったおもちゃを持ち寄って、図書館の様に貸すので、すぐ飽きる子供、おもちゃが増えて困る親、双方に良い施設なのでよかったらいいと思う。
M	子供たちが遊ぶ公園、遊具がほぼないので充実させてほしいです。
M	村営のまともな公園が一つもない。遊具で遊ばせたい場合。わざわざ大町や松川など遠出している状況なのはおかしい。村内の小さな公園も古ぼけた遊具ばかり。良い公園があれば観光客だって使うのだから本当に改善してほしい。
M	雨の時 遊べる施設もほとんどない。自然にまかせっきりで村として子供たちを健康に育む努力が感じられない。
M	冬期遊具等の維持が難しいことは承知しているが、子どもが集い遊べる公園を充実させてほしい。
M	遊具(滑り台、砂場、ブランコetc)がある公園があるといいです。冬、雪が降った時、小さな子供が遊べる屋内の遊び場があると助かります。支援ルームはとても助かっています。
M	村にもう少し大きい公園が欲しいです。
M	支援センターも何もかも北城にあり、神城地域からは遠く、遊ばせに行くにも大変。村内に幼児が遊べる遊具を増やし、公園を作って欲しい。グリーンスポーツでは小さい子はあまり遊べない。危険。各地区の公民館の外などにあればいいと思う。現在あるところもあるが老朽化している。
M	幼児の遊ぶ公園(室内、室外)を作って欲しい。グリーンスポーツの遊具は危険！！
M	村内に子どもを遊ばせる施設が少なすぎる。自治体、行政の補助で公園や室内施設が欲しい。(その為の募金なら、いくらするのに！！)
M	白馬は公園が少ない、グリーンスポーツは就学前の子供向きではない。

N	健診や健診後のフォローアップ等、保健師や栄養士や専門の方々の対応が素晴らしくてびっくりした。
N	今迄通りでよいと思います。特に不安なこともありません。
N	でも私は自分の子どもは自分で育てたいと思っています。(特に子供が小さいうちは)人それぞれですが、子供もほしい、家もほしい→お金がいる→働かないといけないう一度に欲張るから預けないといけないう。自分で育てないのになぜ産むのだろう?となかなか子供ができなかった私から見ると、不思議です
N	今は行政に頼らず家族で乗り切ろうとしています、本当は安心して子育てできる環境が欲しいです。
N	自然豊かで伸び伸び子育てができること、とても素敵なことだと感じています。その反面大きい市にあるような「こども館」のように子どもが刺激を受け遊べる場も魅力的です。ないものねだりになるのですが、どちらもあつたらとってもいいなと思います。
N	オーストラリア人の子どもの受け入れに疑問?タクシーでスキーの格好をしておいていく、オーストラリア人の子どもを預かる必要があるか?しかも未満児クラス。
N	健診や予防接種等、お便りを頂けるので、わかりやすく、親切に見て頂けて安心です。
N	3歳になり大分、手がかからなくなってきたのですが、週末に仕事が入ることが多く家庭でお願いできない際に利用させて頂きたいと考えています。
N	保健師さんはじめ、スタッフの方にはいつもよくして頂いておりありがたいです。これからもよろしくお願いします。
N	ペアレントトレーニングなどとても勉強になります。仕事を始めてしまい定期的に通えず、休んでしまうこともあります。途中からでも参加したいほどです。
N	自然に恵まれ、地域性も良く、子育ての環境はとても良いと思う。
N	前から思っていたのですが、ケーブルテレビで保育所や幼稚園、児童センターでのイベント等を流していますが、それが少し不安に思います。どの保育所にどんな子がいるか、部外者でもわかってしまうのでは。。。?と思います。私の地元は県外ですが、地元の保育所では、変な人から身を守るための練習などしているそうです。プライバシーの観点から行くと、あまりよくないのでは?と思いますが。。。?皆さんがそう思っているとは限らないと思います。楽しみにしている方もいらっしゃるかもしれませんが、白馬のケーブルテレビの内容は観光のみにした方がよいのでは?と思います。
N	医療機関の休診日等の前日、前々日には、副作用の出るような予防接種は避けて欲しい。副作用の高熱が出た場合村内では対応できず。大町市等まで行かないとならない為。
N	最近引っ越してきた為、子育て支援ルームなどの利用をしなかった為どのような物かわからないのですが、今、幼稚園を利用させて頂いているのですが子どもも、とても楽しそうに通っています。時間外保育も、夕方まで預かって頂けるので、とても助かっています。
N	医療費を、病院にかかる時の支払いがない、もしくは¥500のみ支払う方がよいのでは?
N	まだ9か月の為アンケートの状態までいっていませんがある程度書かせていただきました。
N	保育園統合により、遠くなり、決められている時間の送迎が困難。立地条件も除雪基地の横と危険なことも冬期は多く、駐車場も狭すぎる。除雪もなっていない。
N	近所の方に子どもの顔を覚えてもらって、お互いに、知り合いになれるイベント等があっても良いと思う。近くに同じ性別、の同じ年の子供がいないので、さびしいです。



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シェヴァルブラン・村男Ⅲ世